

箱根町子ども・子育て支援事業計画 ニーズ調査結果報告書【概要】

目次

1	調査の概要.....	2
	（1）調査の目的と内容等.....	2
	（2）回収結果.....	3
2	調査結果の概要.....	3
	（1）就学前児童の保護者.....	3
	①お住まいの地域.....	3
	②お子さんとご家族の状況.....	4
	③お子さんの育ちをめぐる環境.....	5
	④保護者の就労状況.....	7
	⑤平日の定期的な教育・保育事業の利用.....	8
	⑥地域の子育て支援事業の利用状況.....	16
	⑦休日等の教育・保育事業の利用希望.....	17
	⑧お子さんの病気の際の対応.....	18
	⑨お子さんの一時預かり・一時保育等.....	18
	⑩小学校就学後の放課後の過ごし方.....	21
	⑪職場の両立支援制度.....	22
	⑫子育て全般やお子さんの健康管理.....	23
	（2）小学1年生～3年生の保護者.....	29
	①お住まいの地域.....	29
	②お子さんとご家族の状況.....	29
	③お子さんの育ちをめぐる環境.....	31
	④放課後の過ごし方.....	32
	⑤子育て全般やお子さんの健康管理.....	33
3	まとめ.....	38

1 調査の概要

(1) 調査の目的と内容等

- ◆ 本調査は、子ども・子育て支援法に基づく「箱根町子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、就学前児童及び就学児（小学1年生～3年生）の各保護者を対象に、保育や子育て支援等のニーズを把握するために、次の内容により実施しました。

表 1 調査の目的と内容等

対象	調査の内容	対象数	配布・回収方法
① 就学前児童の保護者 (調査票案は別紙参照)	<p>子ども・子育て支援事業計画には、計画期間（5年間）について教育・保育の「量の見込み」と「確保の内容」・「実施時期」を記載する必要があり、「量の見込み」は、「現在の利用状況」＋「今後の利用希望」を踏まえて設定する必要があります。</p> <p>このため、就学前児童の保護者を対象とする調査は、利用希望の把握方法のひな形が国から示されており、内容としては、国から示されたひな形を基礎とし、町独自の質問項目を一部加えた次の内容を予定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① お住まいの地域 ② お子さんのご家族の状況 ③ お子さんの育ちをめぐる環境 ④ 保護者の就労状況 ⑤ 平日の教育・保育事業の利用状況 ⑥ 地域の子育て支援事業の利用状況 ⑦ 休日等の教育・保育事業の利用希望 ⑧ お子さんの病気の際の対応 ⑨ お子さんの一時預かり・一時保育等 ⑩ 小学校就学後の放課後の過ごし方 ⑪ 職場の両立支援制度 ⑫ 子育て全般やお子さんの健康管理 	355	<p>保育園・幼稚園、幼児学園（認定こども園）就園児は各園を通じた配布・回収</p> <p>未就園児は郵送配布・回収</p>
② 小学校1年生～3年生の保護者 (調査票案は別紙参照)	<p>次のような内容を予定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① お住まいの地域 ② お子さんのご家族の状況 ③ お子さんの育ちをめぐる環境 ④ 放課後の過ごし方 ⑤ 子育て全般やお子さんの健康管理 	181	各学校を通じた配布・回収

(2) 回収結果

- ◆ 調査の結果、回収率は①就学前児童の保護者で 50.1%、②小学校 1 年生～3 年生の保護者で 60.2%となっています。

表 2 回収結果

区 分	配付数	回収数	有効回収数	有効回収率
①就学前児童の保護者	355	178	178	50.1%
②小学校1年生～3年生の保護者	181	110	109(白票が1票)	60.2%
合計	536	288	287	53.5%

2 調査結果の概要

調査結果の概要（主な質問の結果）は、次のとおりです。

なお、四捨五入の関係上、複数回答以外は%の合計が 100%となるよう調整しています。

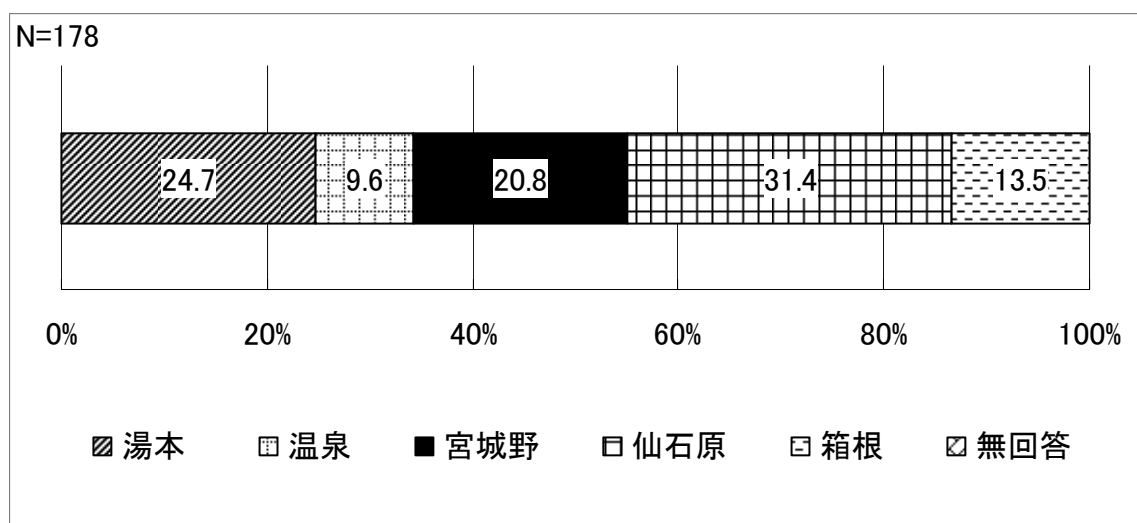
図のN=〇〇〇の数字は、回答者数です。

(1) 就学前児童の保護者

①お住まいの地域

- ・ お住まいの地域は、『仙石原』が 31.4%と最も多く、次いで『湯本』が 24.7%、『宮城野』が 20.8%と続く【図 1 参照】

図 1 お住まいの地域《問 1》



②お子さんご家族の状況

- ・ 子どもの年齢は、0歳が14.6%、1・2歳が29.8%、3歳以上が55.0%【図2参照】
- ・ アンケートの記入者は93.7%が『母親』【図3参照】
- ・ ひとり親家庭（配偶者がいない）は11.2%【5ページ図4参照】
- ・ 子育ての主体は『父母ともに』は50.0%、『主に母親』が46.6%【5ページ図5参照】

図2 子どもの年齢《問2》

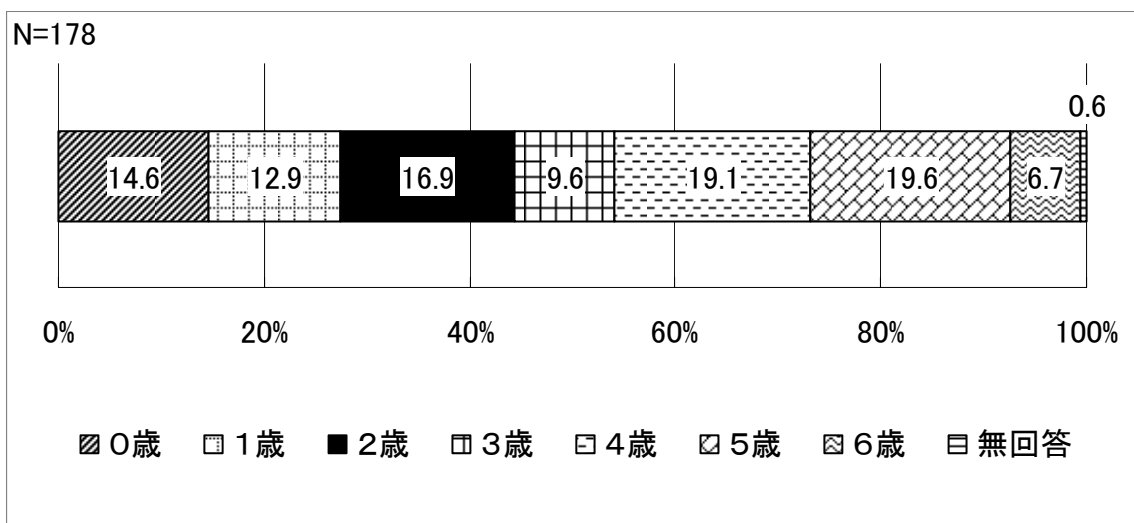


図3 アンケートの記入者《問4》

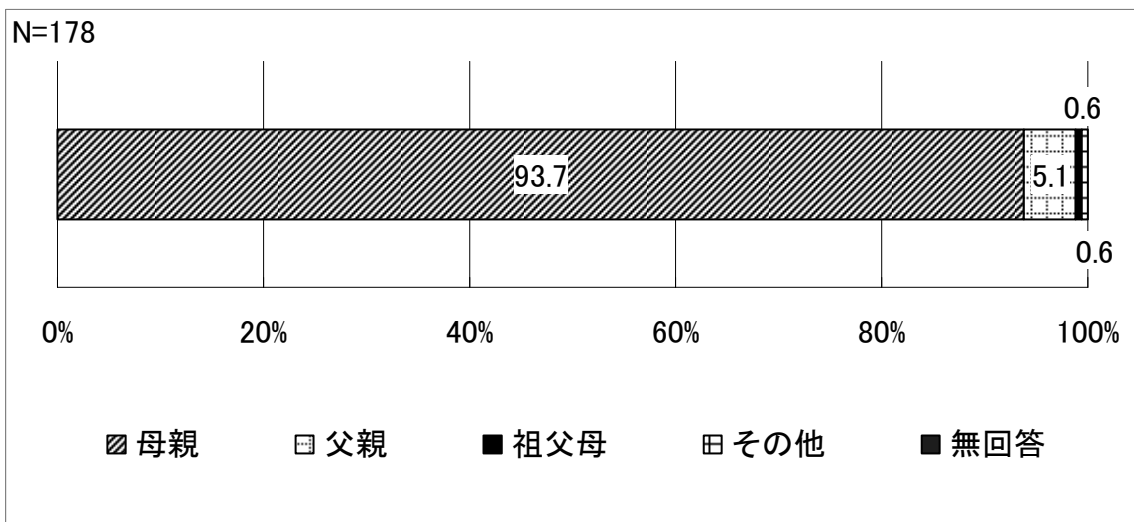


図 4 配偶者の有無《問 5》

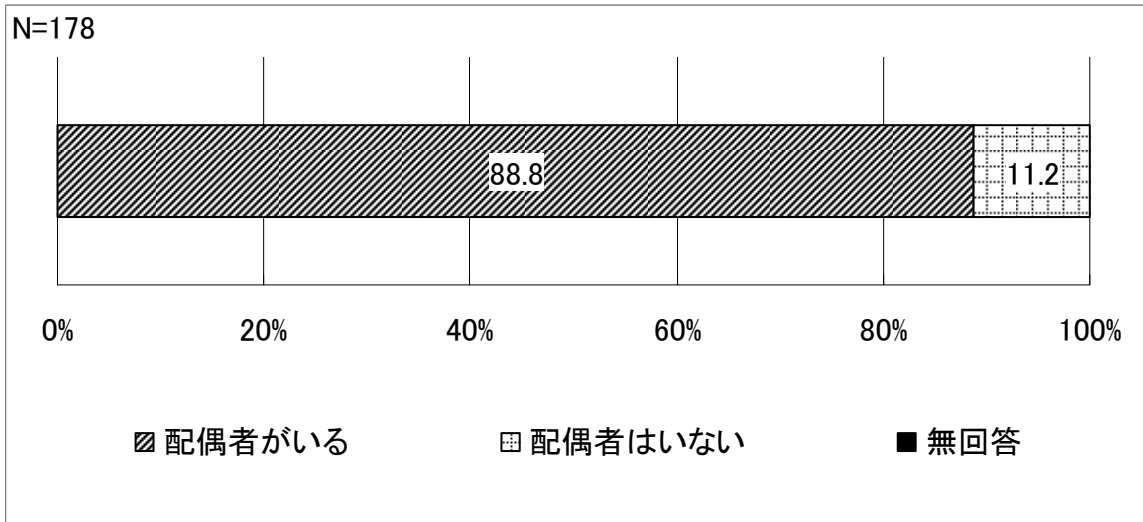
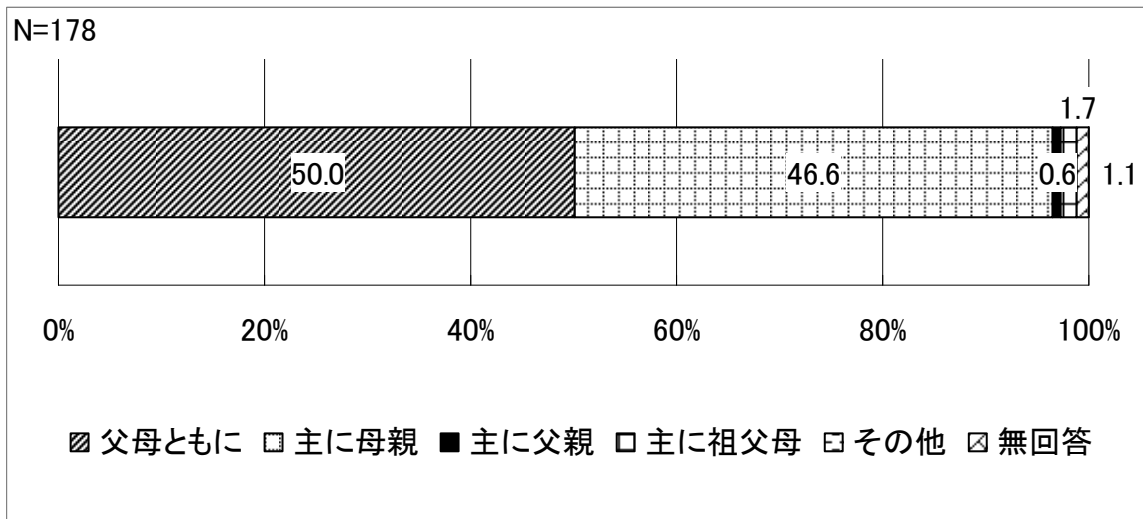


図 5 子育てを主にしている方《問 6》



③お子さんの育ちをめぐる環境

- ・ 子育てについて気軽に相談できる人は、『いる』が90.5%【6 ページ図 6 参照】
- ・ 相談先について教育・保育事業の利用状況別で見ると、“利用している”保護者の場合は家族や親族、友人・知人以外では、『保育士』が34.6%、『幼稚園教諭』が21.2%。”利用していない（未就園）”保護者の場合は、『子育て支援センター、子育てサロン』が28.1%【6 ページ表 7 参照】

図 6 子育てについて気軽に相談できる人の有無《問 10》

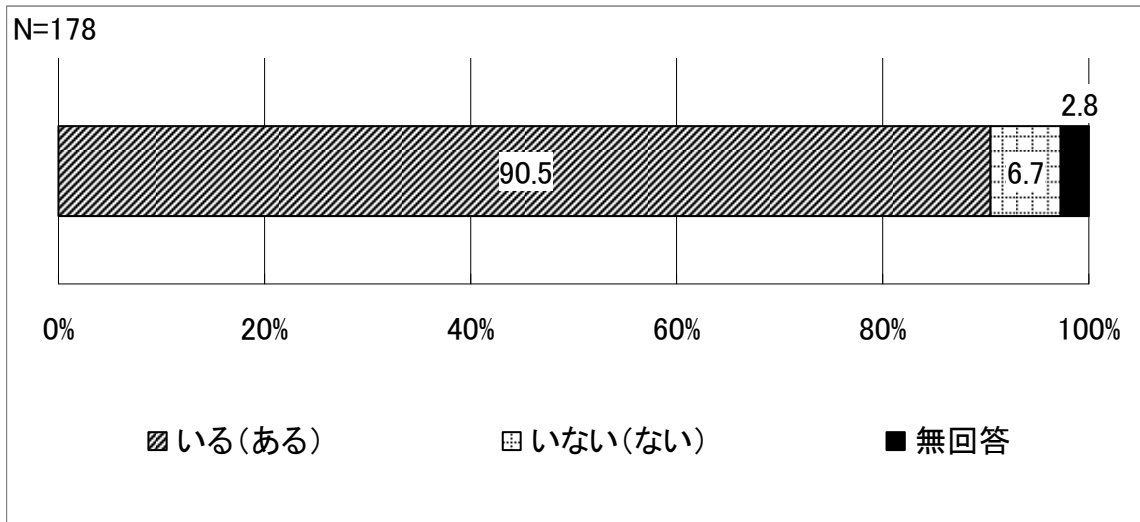


表 3 相談先〔教育・保育事業の利用状況別クロス集計結果〕【複数回答】《問 10-1》

		回答者数	問10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。					
			祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	幼稚園教諭	保育士	子育て支援センター、子育てサロン
全体		161	137 85.1%	138 85.7%	14 8.7%	28 17.4%	40 24.8%	24 14.9%
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用	利用している	104	87 83.7%	89 85.6%	9 8.7%	22 21.2%	36 34.6%	8 7.7%
	利用していない	57	50 87.7%	49 86.0%	5 8.8%	6 10.5%	4 7.0%	16 28.1%

		回答者数	町の子育て支援課及び学校教育課					無回答
			かかりつけの医師	民生委員・児童委員	保健福祉事務所、児童相談所	その他		
全体		161	13 8.1%	10 6.2%	1 0.6%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用	利用している	104	7 6.7%	5 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%
	利用していない	57	6 10.5%	5 8.8%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

④保護者の就労状況

- ・ 母親の就労状況は、『パートタイム、アルバイト等』が33.6%、『フルタイム』が32.1% 『就労していない・就労したことがない』が31.5%【図7参照】
- ・ “パートタイム、アルバイト等”の母親にフルタイムへの転換希望は、『フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある』が15.0%【図8参照】

図7 保護者の就労状況《問12》

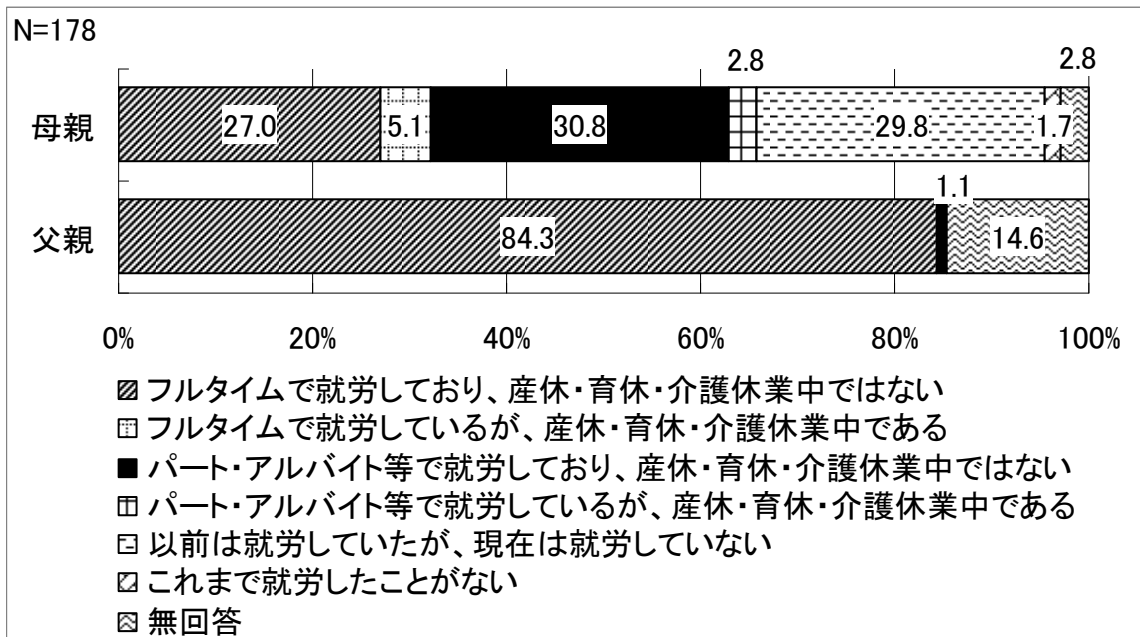
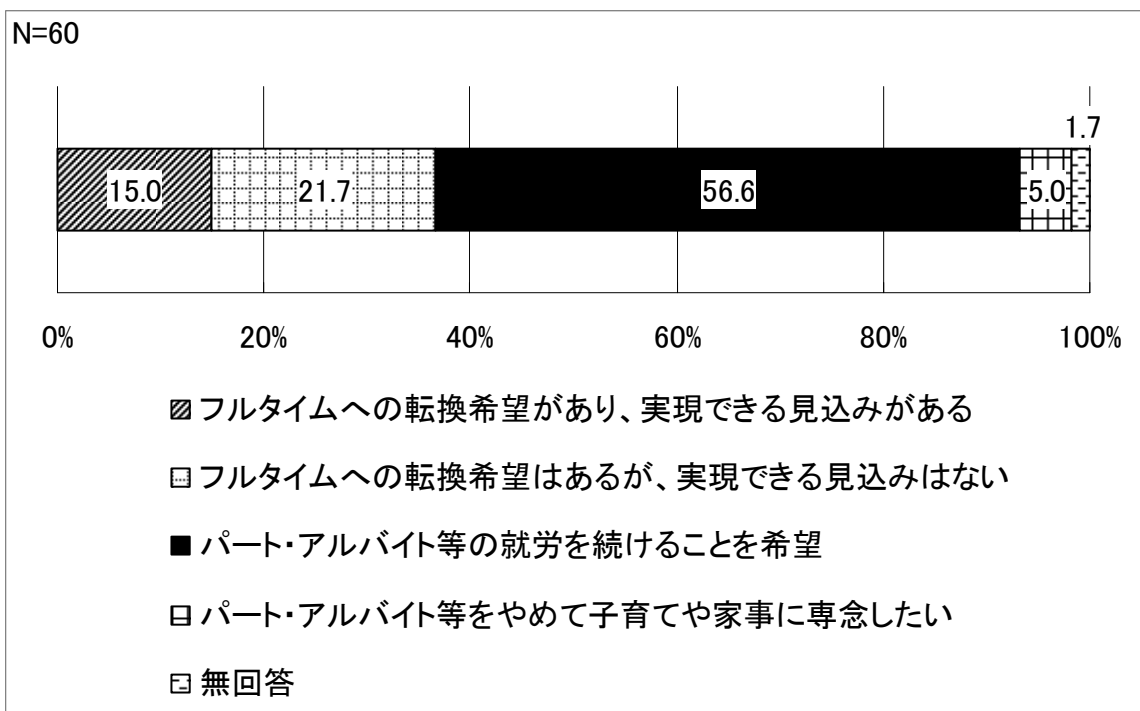


図8 フルタイムへの転換希望【パート・アルバイト等で就労している母親のみ】《問13》



⑤平日の定期的な教育・保育事業の利用

- 平日の定期的な教育・保育事業の利用は、『利用している』が66.3%、『利用していない』が33.7%。0～2歳では30.4%、3歳以上では94.9%が『利用している』と回答【図9・9ページ表4参照】
- 現在、お子さんが平日に定期利用する教育・保育事業は、『幼児学園』が53.4%、『保育園』が31.4%、『幼稚園』が16.1%、『幼稚園の預かり保育』が14.4%。0～2歳では『幼児学園』が50.0%、『保育園』が45.8%、3歳以上では『幼児学園』が53.8%、『保育園』が28.0%、『幼稚園』が20.4%【10ページ表5参照】
- 現在、教育・保育事業を平日に定期利用していない場合の理由は、『子どもがまだ小さいため→□歳くらいになったら利用しようと考えている』が56.7%と最も多く、『利用する必要がない』が36.7%【10ページ図11参照】
- 教育・保育事業の今後の意向は、『幼児学園』が51.1%、『保育園』が40.4%、『幼稚園』が33.1%。0～2歳では『幼稚園』が41.8%と、3歳以上と比べて高い。教育・保育事業の利用状況別で見ると、現在”利用していない（未就園）”保護者の場合は『幼稚園』が55.0%、『幼児学園』が40.0%、『保育園』が36.7%の順。地域別で見ると、湯本と仙石原は『幼児学園』、宮城野は『保育園』、箱根は『幼稚園』の割合がそれぞれ高い【11ページ図12・12ページ表6・表7・13ページ表8参照】
- 教育・保育事業を選ぶときに重視する点は、『自宅に近い』が65.2%と最も多く、次いで『職員の印象がよい』が28.1%。今後利用を希望する教育・保育事業別に見ると、幼稚園、保育園、幼児学園のいずれも、『自宅に近い』が最も多く、幼稚園は『就学前の教育を身に付けさせたい』が42.4%と比較的高い【13ページ図13・14ページ表9参照】

図9 「定期的な教育・保育の事業」の利用状況《問15》

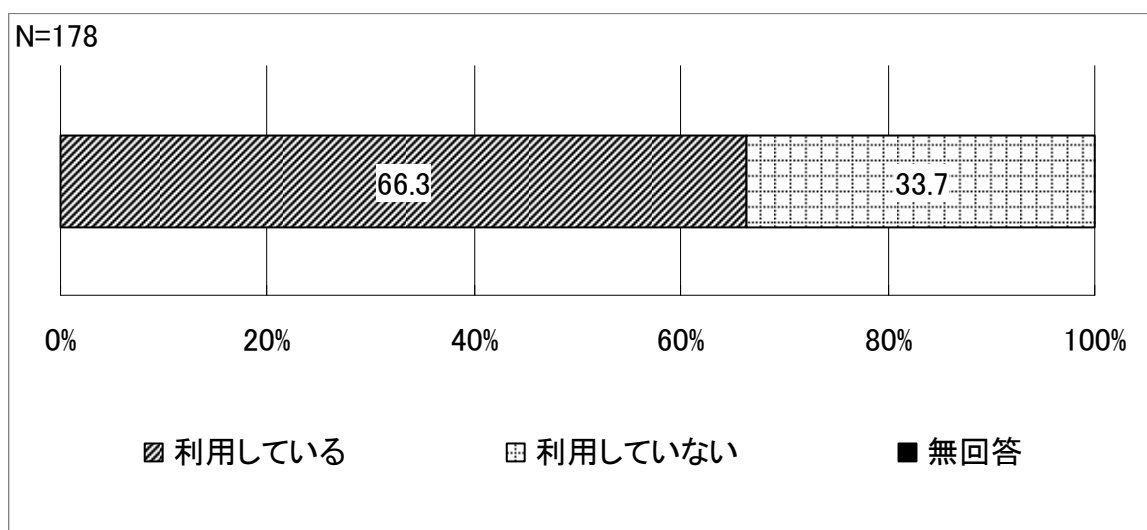


表 4 【年齢別クロス集計結果】《問 15》

		回答者数	問15 お子さんは現在、幼稚園、保育園、幼児学園（認定こども園）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。		
			利用している	利用していない	無回答
全体		178	118 66.3%	60 33.7%	0 0.0%
問 2 年齢 (統合)	0～2歳	79	24 30.4%	55 69.6%	0 0.0%
	3歳以上	98	93 94.9%	5 5.1%	0 0.0%

図 10 現在、お子さんが平日に定期利用している教育・保育事業【複数回答】《問 15-1》

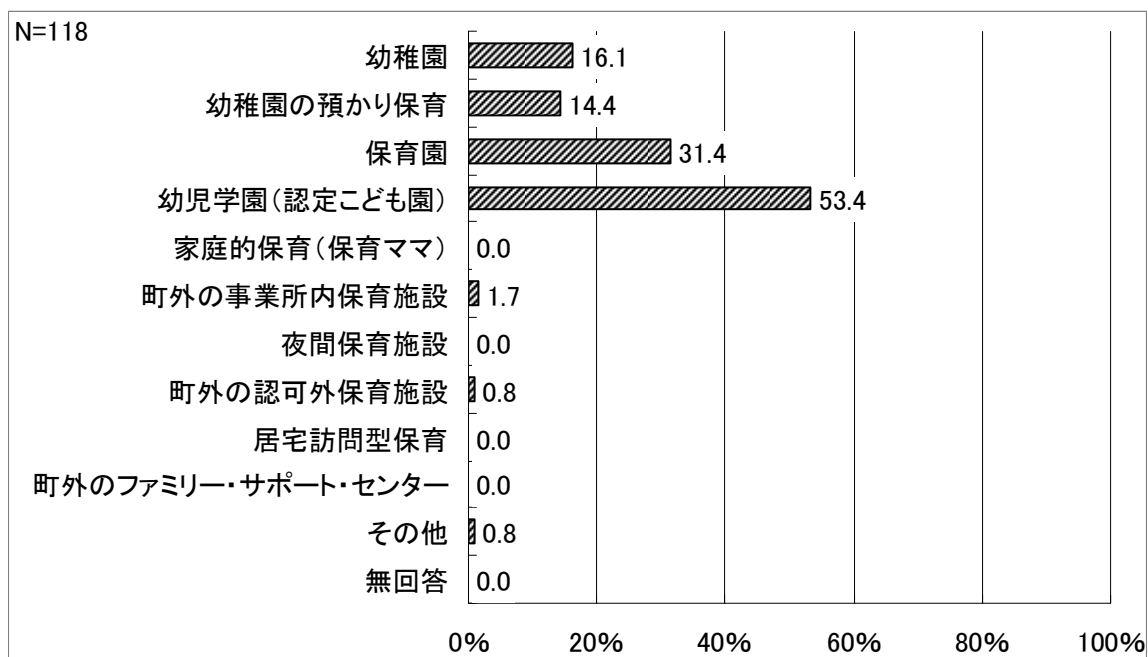
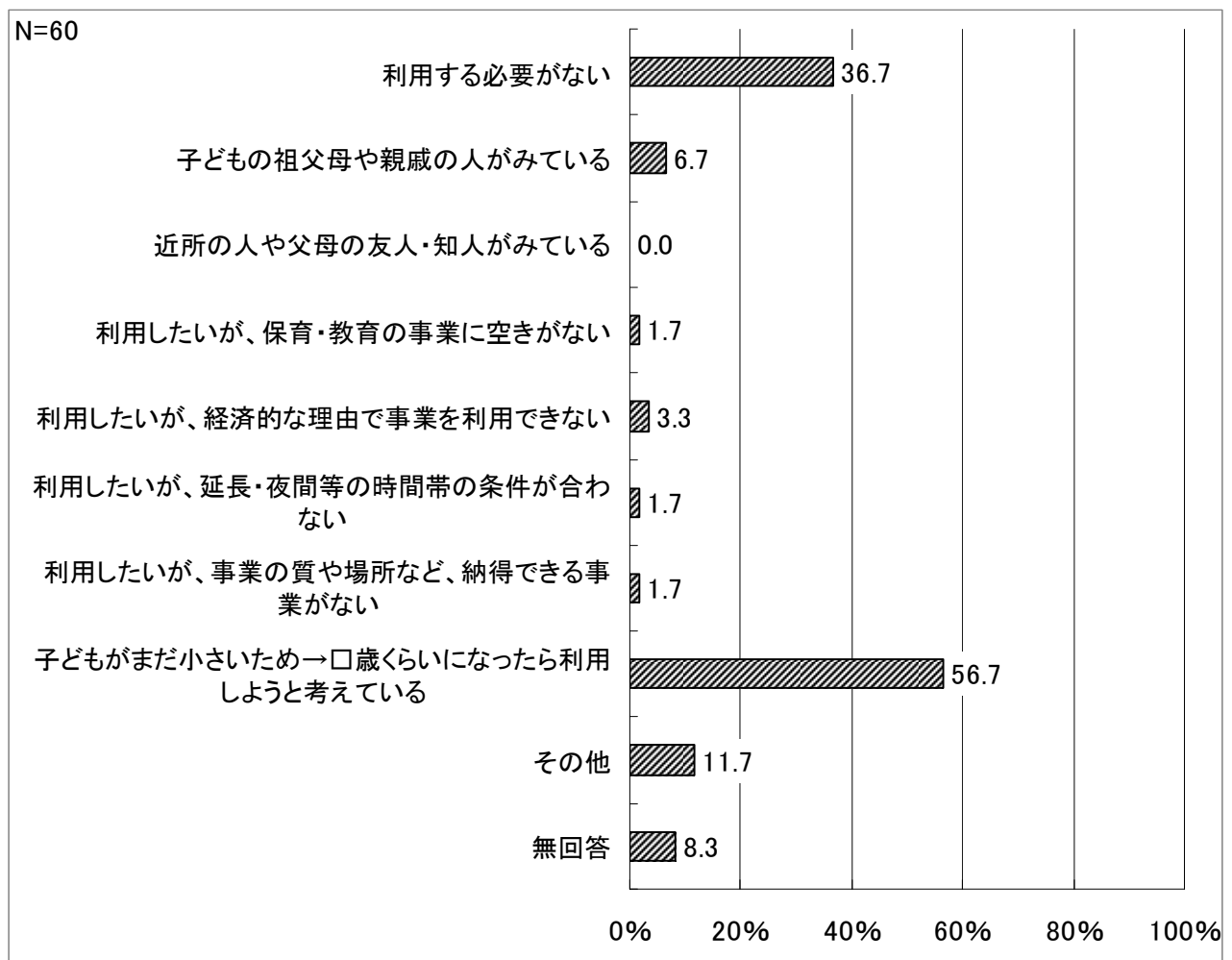


表 5 [年齢別クロス集計結果] 《問 15-1》

		回答者数	問15-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。					町外の事業 所内保育施設
			幼稚園	幼稚園の預 かり保育	保育園	幼児学園 (認定こど も園)	家庭的保育 (保育マ マ)	
全体		118	19 16.1%	17 14.4%	37 31.4%	63 53.4%	0 0.0%	2 1.7%
問 2 年齢 (統合)	0～2歳	24	0 0.0%	0 0.0%	11 45.8%	12 50.0%	0 0.0%	1 4.2%
	3歳以上	93	19 20.4%	17 18.3%	26 28.0%	50 53.8%	0 0.0%	1 1.1%

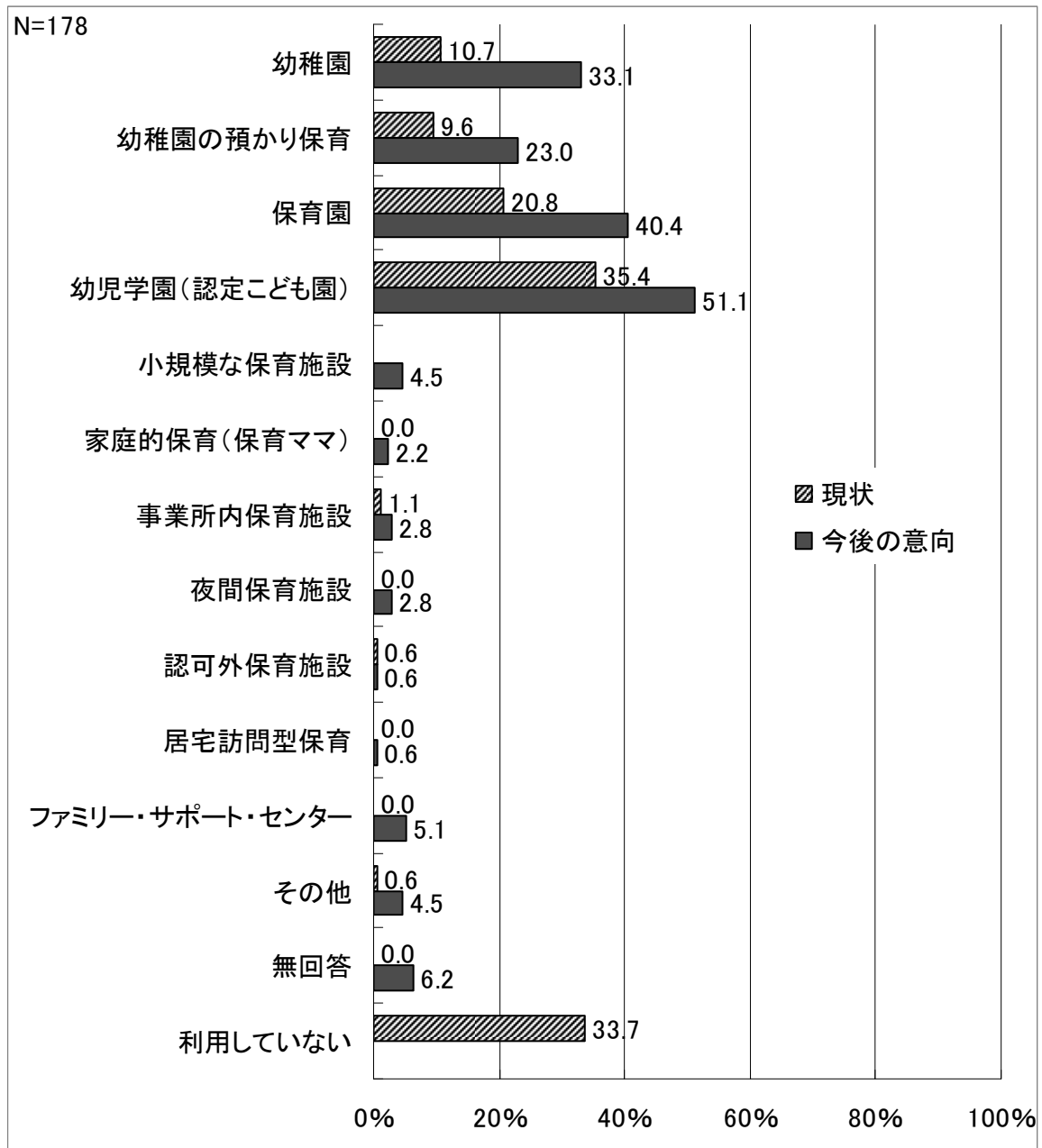
		回答者数	問15-6 現在、教育・保育事業を平日に定期利用していない理由【複数回答】					無回答
			夜間保育施設	町外の認可 外保育施設	居宅訪問型 保育	町外のファミ リリー・サ ポート・セ ンター	その他	
全体		118	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%
問 2 年齢 (統合)	0～2歳	24	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	3歳以上	93	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%

図 11 現在、教育・保育事業を平日に定期利用していない理由【複数回答】《問 15-6》



〇歳くらいになったら：3歳が最も多く、次いで1歳、2歳と続く

図 12 教育・保育事業の利用の現状と今後の意向【複数回答】《問 15-6※、問 16》



※問 15 で「利用していない」と回答した方を含めた割合

表 6 [年齢別クロス集計結果]《問 16》

		回答者数	問16 お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。						
			幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育園	幼児学園(認定こども園)	小規模な保育施設	家庭的保育(保育ママ)	事業所内保育施設
全体		178	59 33.1%	41 23.0%	72 40.4%	91 51.1%	8 4.5%	4 2.2%	5 2.8%
問2 年齢(統合)	0～2歳	79	33 41.8%	17 21.5%	35 44.3%	36 45.6%	6 7.6%	2 2.5%	1 1.3%
	3歳以上	98	26 26.5%	24 24.5%	36 36.7%	55 56.1%	2 2.0%	2 2.0%	4 4.1%

		回答者数	問16 お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。					
			夜間保育施設	認可外保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体		178	5 2.8%	1 0.6%	1 0.6%	9 5.1%	8 4.5%	11 6.2%
問2 年齢(統合)	0～2歳	79	3 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	6 7.6%	2 2.5%	7 8.9%
	3歳以上	98	2 2.0%	1 1.0%	1 1.0%	3 3.1%	6 6.1%	4 4.1%

表 7 [教育・保育事業の利用状況別クロス集計結果]《問 16》

		回答者数	問16 お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。						
			幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育園	幼児学園(認定こども園)	小規模な保育施設	家庭的保育(保育ママ)	事業所内保育施設
全体		178	59 33.1%	41 23.0%	72 40.4%	91 51.1%	8 4.5%	4 2.2%	5 2.8%
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用	利用している	118	26 22.0%	27 22.9%	50 42.4%	67 56.8%	1 0.8%	3 2.5%	5 4.2%
	利用していない	60	33 55.0%	14 23.3%	22 36.7%	24 40.0%	7 11.7%	1 1.7%	0 0.0%

		回答者数	問16 お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。					
			夜間保育施設	認可外保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体		178	5 2.8%	1 0.6%	1 0.6%	9 5.1%	8 4.5%	11 6.2%
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用	利用している	118	3 2.5%	1 0.8%	1 0.8%	4 3.4%	8 6.8%	6 5.1%
	利用していない	60	2 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 8.3%	0 0.0%	5 8.3%

表 8 [地域別クロス集計結果] 《問 16》

		合計	問16 お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。						
			幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育園	幼児学園（認定こども園）	小規模な保育施設	家庭的保育（保育ママ）	事業所内保育施設
回答者数		178	59	41	72	91	8	4	5
		100.0%	33.1%	23.0%	40.4%	51.1%	4.5%	2.2%	2.8%
問1 お住まいの地域	湯本	44	6	7	10	34	2	2	1
		100.0%	13.6%	15.9%	22.7%	77.3%	4.5%	4.5%	2.3%
	温泉	17	8	9	8	9	1	0	1
		100.0%	47.1%	52.9%	47.1%	52.9%	5.9%	0.0%	5.9%
	宮城野	37	8	4	26	6	1	0	3
		100.0%	21.6%	10.8%	70.3%	16.2%	2.7%	0.0%	8.1%
仙石原	56	20	12	22	35	3	2	0	
	100.0%	35.7%	21.4%	39.3%	62.5%	5.4%	3.6%	0.0%	
箱根	24	17	9	6	7	1	0	0	
	100.0%	70.8%	37.5%	25.0%	29.2%	4.2%	0.0%	0.0%	

		合計	問16-2 重視する点					無回答
			夜間保育施設	認可外保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	
回答者数		178	5	1	1	9	8	11
		100.0%	2.8%	0.6%	0.6%	5.1%	4.5%	6.2%
問1 お住まいの地域	湯本	44	1	1	1	4	0	2
		100.0%	2.3%	2.3%	2.3%	9.1%	0.0%	4.5%
	温泉	17	0	0	0	0	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%
	宮城野	37	1	0	0	1	4	1
		100.0%	2.7%	0.0%	0.0%	2.7%	10.8%	2.7%
仙石原	56	3	0	0	3	1	6	
	100.0%	5.4%	0.0%	0.0%	5.4%	1.8%	10.7%	
箱根	24	0	0	0	1	1	2	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	8.3%	

図 13 教育・保育事業を選ぶときに重視する点【複数回答】《問 16-2》

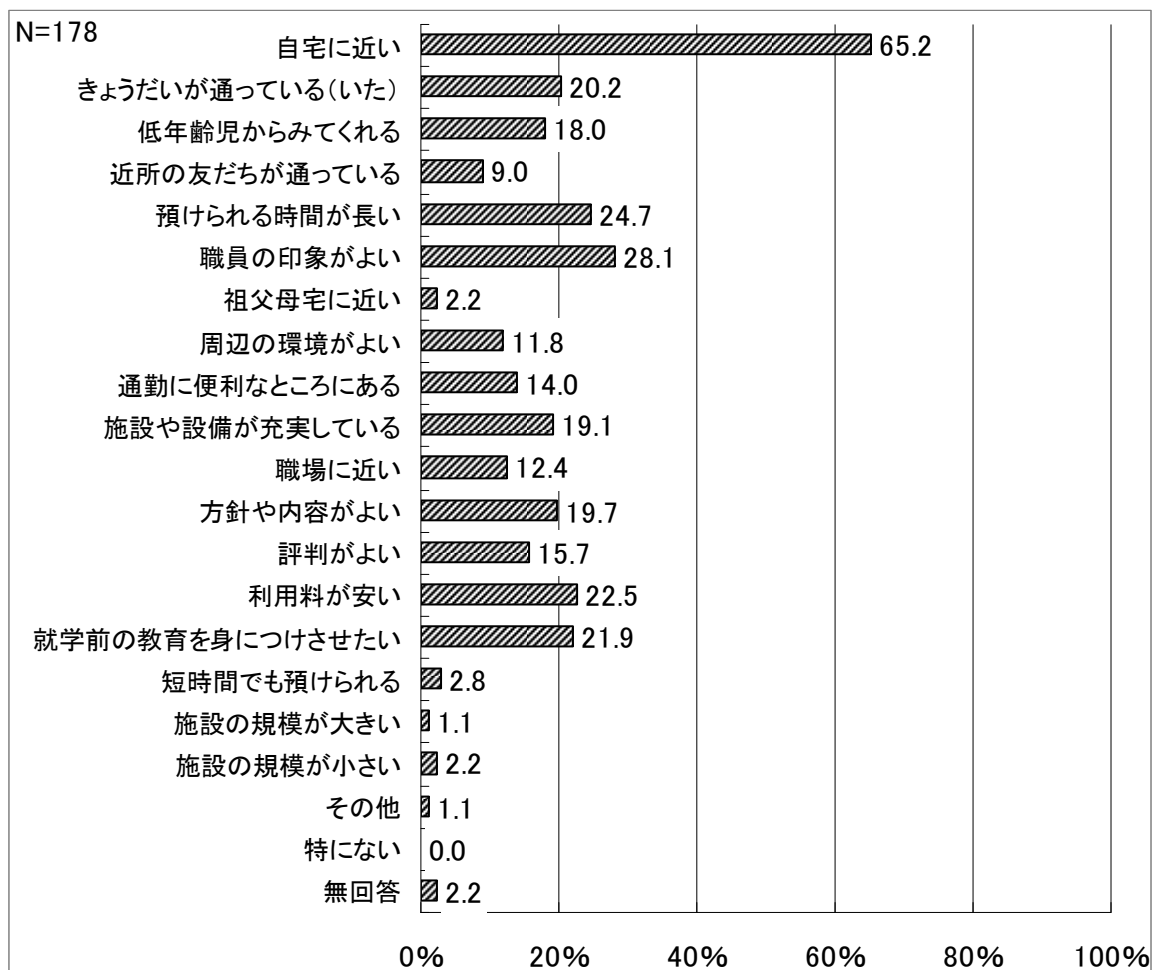


表 9 【今後利用を希望する教育・保育事業別クロス集計結果】《問16-2》

		回答者数	問16-2 教育・保育事業を選ぶとき、どのような点を重視しますか。特に重視する点を3つまで○をつけてください。					
			自宅に近い	きょうだい が通っている (いた)	低年齢児か らみてくれる	近所の女だ ちが通って いる	預けられる 時間が長い	職員の印象 がよい
全体		178	116 65.2%	36 20.2%	32 18.0%	16 9.0%	44 24.7%	50 28.1%
問16 お子 さんの平日の 教育・保育の 事業として、 「定期的に」 利用したいと 考える事業を お答えくださ い。	幼稚園	59	30 50.8%	15 25.4%	5 8.5%	10 16.9%	6 10.2%	25 42.4%
	幼稚園の預かり保 育	41	25 61.0%	12 29.3%	6 14.6%	5 12.2%	5 12.2%	10 24.4%
	保育園	72	50 69.4%	13 18.1%	18 25.0%	4 5.6%	25 34.7%	26 36.1%
	幼児学園（認定こ ども園）	91	64 70.3%	16 17.6%	18 19.8%	7 7.7%	24 26.4%	24 26.4%
	小規模な保育施設	8	5 62.5%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 50.0%
	家庭的保育（保育 ママ）	4	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	事業所内保育施設	5	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%
	夜間保育施設	5	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%
	認可外保育施設	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	居宅訪問型保育	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	ファミリー・サ ポート・センター	9	4 44.4%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%
	その他	8	6 75.0%	2 25.0%	4 50.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%

		回答者数	問16-2 教育・保育事業を選ぶとき、どのような点を重視しますか。特に重視する点を3つまで○をつけてください。					
			祖父母宅に 近い	周辺の環境 がよい	通勤に便利 なところ にある	施設や設備 が充実して いる	職場に近い	方針や内容 がよい
全体		178	4 2.2%	21 11.8%	25 14.0%	34 19.1%	22 12.4%	35 19.7%
問16 お子 さんの平日の 教育・保育の 事業として、 「定期的に」 利用したいと 考える事業を お答えくださ い。	幼稚園	59	1 1.7%	11 18.6%	7 11.9%	9 15.3%	4 6.8%	26 44.1%
	幼稚園の預かり保 育	41	0 0.0%	4 9.8%	3 7.3%	5 12.2%	3 7.3%	12 29.3%
	保育園	72	2 2.8%	11 15.3%	13 18.1%	10 13.9%	16 22.2%	14 19.4%
	幼児学園（認定こ ども園）	91	3 3.3%	10 11.0%	15 16.5%	22 24.2%	14 15.4%	13 14.3%
	小規模な保育施設	8	0 0.0%	2 25.0%	3 37.5%	2 25.0%	2 25.0%	5 62.5%
	家庭的保育（保育 ママ）	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
	事業所内保育施設	5	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%
	夜間保育施設	5	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	4 80.0%
	認可外保育施設	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%
	居宅訪問型保育	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	ファミリー・サ ポート・センター	9	0 0.0%	2 22.2%	3 33.3%	3 33.3%	2 22.2%	2 22.2%
	その他	8	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%

前ページの続き

		回答者数	評判がよい	利用料が安い	就学前の教育を身につけさせたい	短時間でも預けられる	施設の規模が大きい	施設の規模が小さい
全体		178	28 15.7%	40 22.5%	39 21.9%	5 2.8%	2 1.1%	4 2.2%
問16 お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。	幼稚園	59	13 22.0%	19 32.2%	25 42.4%	1 1.7%	2 3.4%	0 0.0%
	幼稚園の預かり保育	41	5 12.2%	13 31.7%	12 29.3%	1 2.4%	1 2.4%	2 4.9%
	保育園	72	13 18.1%	17 23.6%	17 23.6%	3 4.2%	0 0.0%	2 2.8%
	幼児学園（認定こども園）	91	13 14.3%	28 30.8%	15 16.5%	2 2.2%	0 0.0%	3 3.3%
	小規模な保育施設	8	4 50.0%	3 37.5%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
	家庭的保育（保育ママ）	4	0 0.0%	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	事業所内保育施設	5	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	夜間保育施設	5	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	認可外保育施設	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	居宅訪問型保育	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	ファミリー・サポート・センター その他	9 8	3 2 33.3% 25.0%	5 1 55.6% 12.5%	5 1 55.6% 12.5%	2 0 22.2% 0.0%	0 0 0.0% 0.0%	0 1 0.0% 12.5%

		回答者数	その他	特にない	無回答
全体		178	2 1.1%	0 0.0%	4 2.2%
問16 お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。	幼稚園	59	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%
	幼稚園の預かり保育	41	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	保育園	72	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	幼児学園（認定こども園）	91	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%
	小規模な保育施設	8	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	家庭的保育（保育ママ）	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	事業所内保育施設	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	夜間保育施設	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	認可外保育施設	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	居宅訪問型保育	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	ファミリー・サポート・センター その他	9 8	0 0 0.0% 0.0%	0 0 0.0% 0.0%	0 0 0.0% 0.0%

⑥地域の子育て支援事業の利用状況

- ・ 仙石原子育て支援センターや湯本子育てサロンなどの利用状況は 16.9%【図 14 参照】
- ・ 教育・保育事業の利用状況別で見ると、現在”利用していない（未就園）”保護者の場合は『子育て支援センター、子育てサロン』が 43.3%【表 10 参照】

図 14 仙石原子育て支援センターや湯本子育てサロンなどの利用状況【複数回答】《問 17》

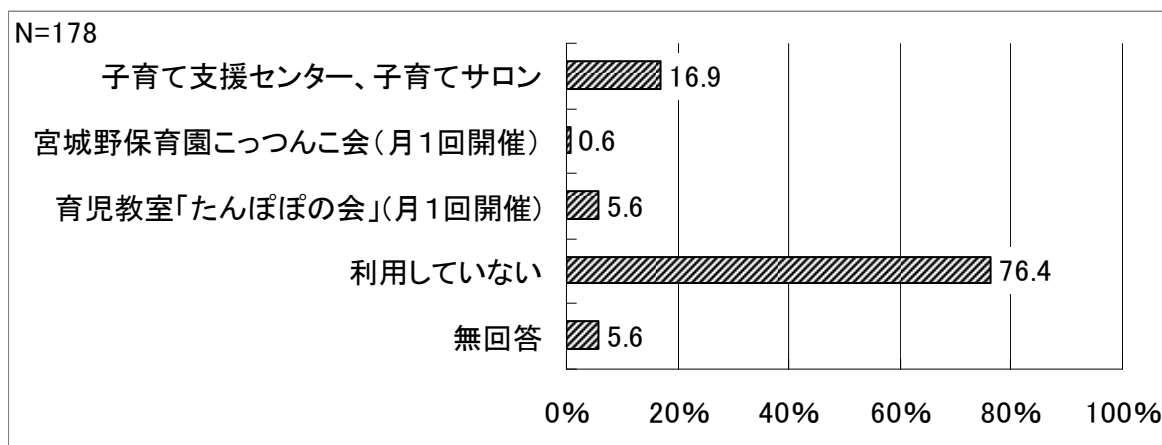


表 10 【教育・保育事業の利用状況別クロス集計結果】《問 17》

		回答者数	問17 お子さんは、現在、仙石原子育て支援センターや湯本子育てサロンなどを利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。				
			子育て支援センター、子育てサロン	宮城野保育園こつつんこ会(月1回開催)	育児教室「たんぽぽの会」(月1回開催)	利用していない	無回答
全体		178	30 16.9%	1 0.6%	10 5.6%	136 76.4%	10 5.6%
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用	利用している	118	4 3.4%	0 0.0%	1 0.8%	106 89.8%	8 6.8%
	利用していない	60	26 43.3%	1 1.7%	9 15.0%	30 50.0%	2 3.3%

⑦休日等の教育・保育事業の利用希望

- ・ 土曜日の希望が比較的多く、『ほぼ毎週利用したい』が32.0%、『月に1～2回は利用したい』が22.5%【図15参照】
- ・ 幼稚園在園児の保護者に夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の希望は、『休みの期間中、ほぼ毎日利用したい』が31.6%、『休みの期間中、週に数日利用したい』が36.8%【図16参照】

図15 土曜日と日曜日・祝日等の定期的な教育・保育の事業の利用希望《問20》

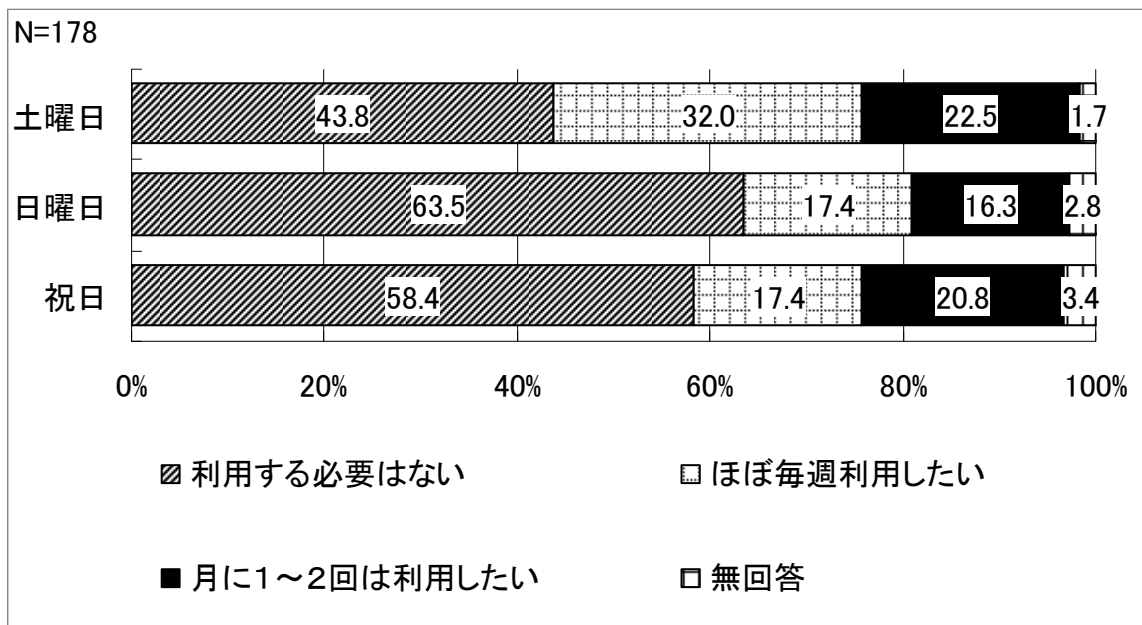
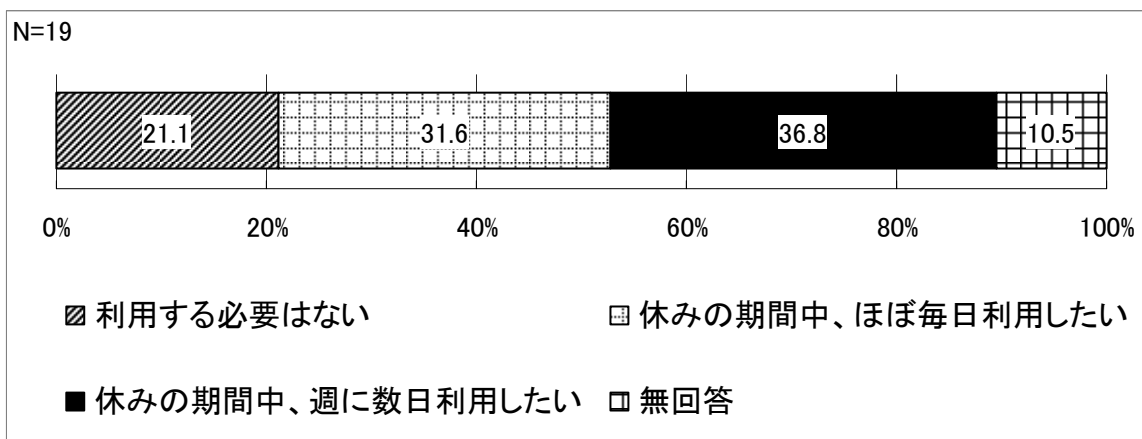


図16 夏休み等の定期的な教育・保育の事業の利用希望【幼稚園の在園児のみ】《問20》



⑧お子さんの病気の際の対応

- ・ 子どもの病気やケガの際、父親または母親が休んで対応した方については『(病児・病後児保育を)できれば利用したかった』という方が35.2%【図 17 参照】
- ・ 病児・病後児保育の望ましい事業形態は、『小児科に併設した施設で子どもを保育する事業』が72.0%【図 18 参照】

図 17 病児・病後児保育を利用したいと思ったか【この1年間に子どもの病気やケガで園などを利用できなかったことがあり、父親または母親が休んで対応したことがある方】《問 14-2》

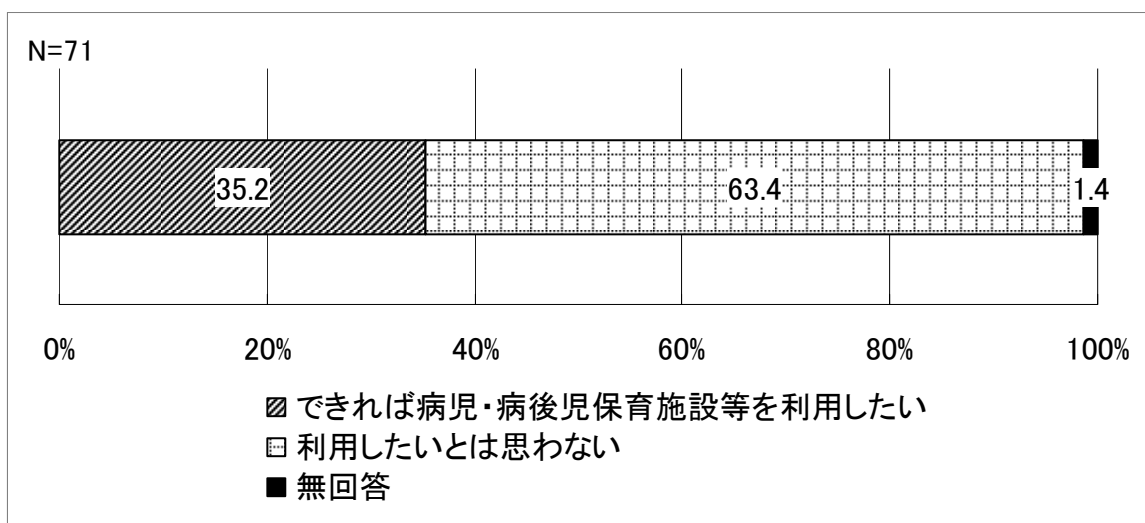
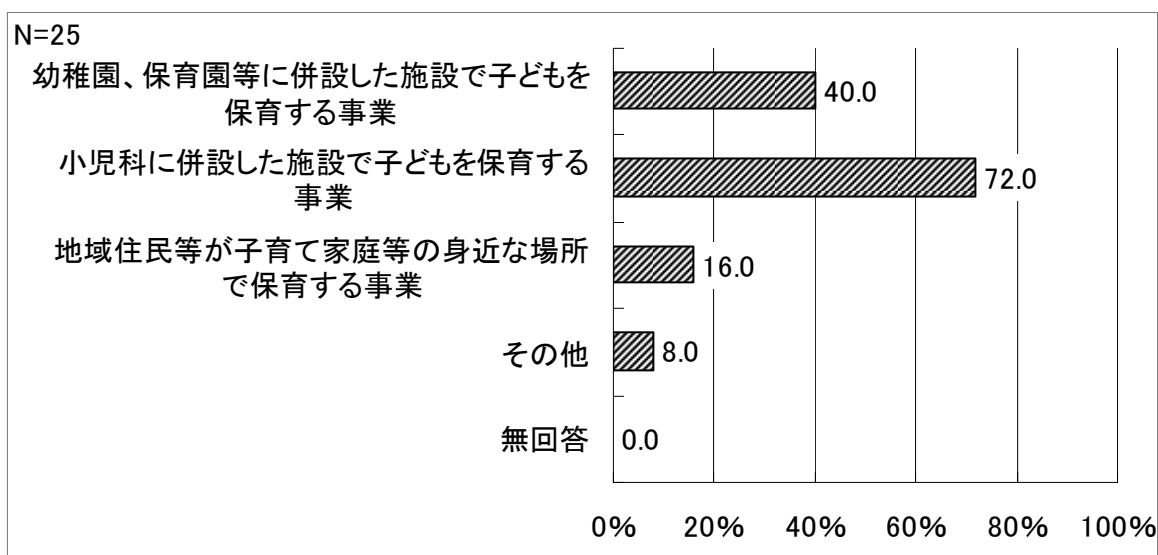


図 18 病児・病後児保育に子どもを預ける場合、望ましい事業形態【「できれば病児・病後児保育を利用したい」と回答した方のみ】《問 22-3》



⑨お子さんの一時預かり・一時保育等

- ・ 『利用していない』が77.0%、『幼稚園の預かり保育』が8.4%、『一時保育』が5.1%【19 ページ図 19 参照】

- ・ 一時預かりのサービス等を利用していない理由は、現在“(教育・保育事業を)利用していない”保護者の場合は『自分が事業の対象者になるのかどうか』、『事業の利用方法(手続き等)がわからない』がそれぞれ24.5%【表11参照】
- ・ 泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験は、『あった』が12.9%【図20参照】
- ・ 対処方法は、『(同居者を含む)親族・知人に預けた』が87.0%、『仕方なく子どもを同行させた』が17.4%。保育事業の利用はなし【図21参照】

図19 この1年間で、私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気等のため、不定期に利用した一時預かりのサービス等【複数回答】《問23》

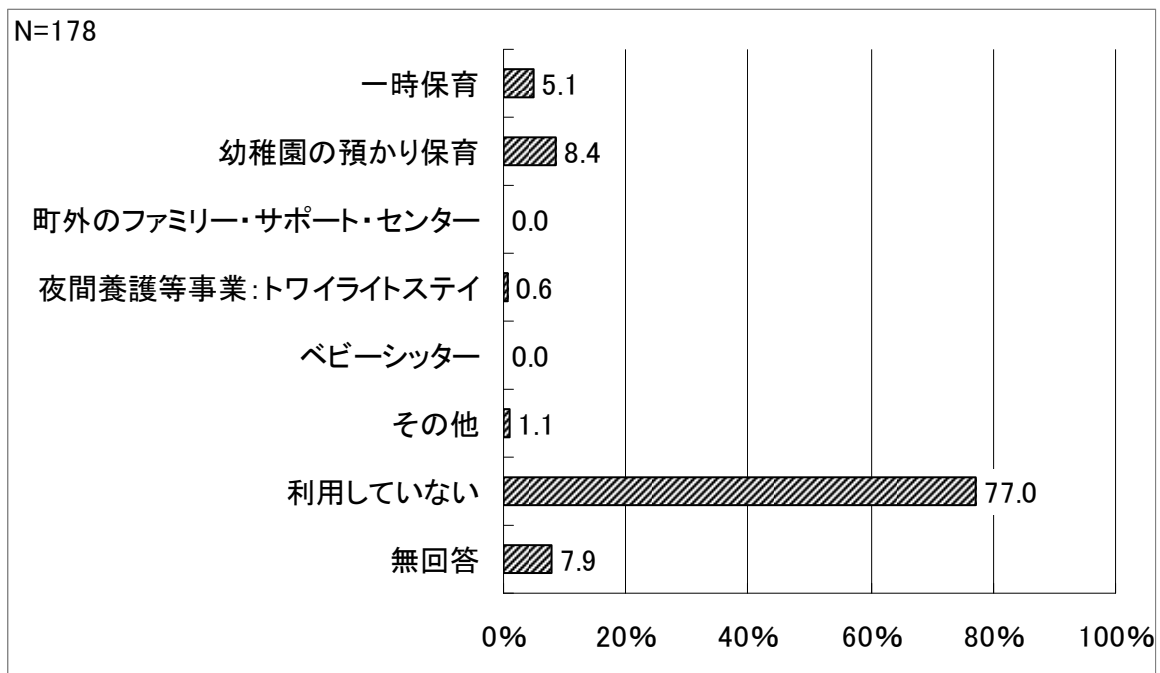


表11 一時預かりのサービス等を利用していない理由【複数回答】《問23-1》

	回答者数	問23-1 現在利用していない理由は何ですか。						
		特に利用する必要がない	利用したい事業が地域にない	地域の事業の質に不安がある	地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよく	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	
全体	137	94 68.6%	20 14.6%	0 0.0%	5 3.6%	15 10.9%	14 10.2%	
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用	利用している	84	59 70.2%	10 11.9%	0 0.0%	2 2.4%	10 11.9%	5 6.0%
	利用していない	53	35 66.0%	10 18.9%	0 0.0%	3 5.7%	5 9.4%	9 17.0%

	回答者数	理由					
		自分が事業の対象者になるのかどうか	事業の利用方法(手続き等)がわからない	わからない	その他	無回答	
全体	137	22 16.1%	28 20.4%	8 5.8%	0 0.0%	1 0.7%	
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用	利用している	84	9 10.7%	15 17.9%	4 4.8%	0 0.0%	1 1.2%
	利用していない	53	13 24.5%	13 24.5%	4 7.5%	0 0.0%	0 0.0%

図 20 この1年間で、子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったこと
《問 25》

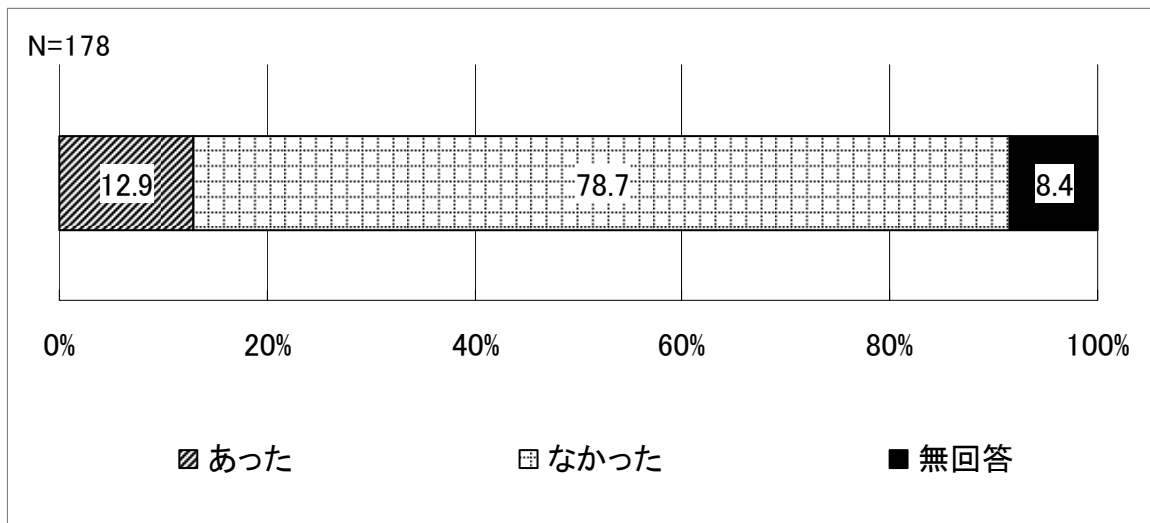
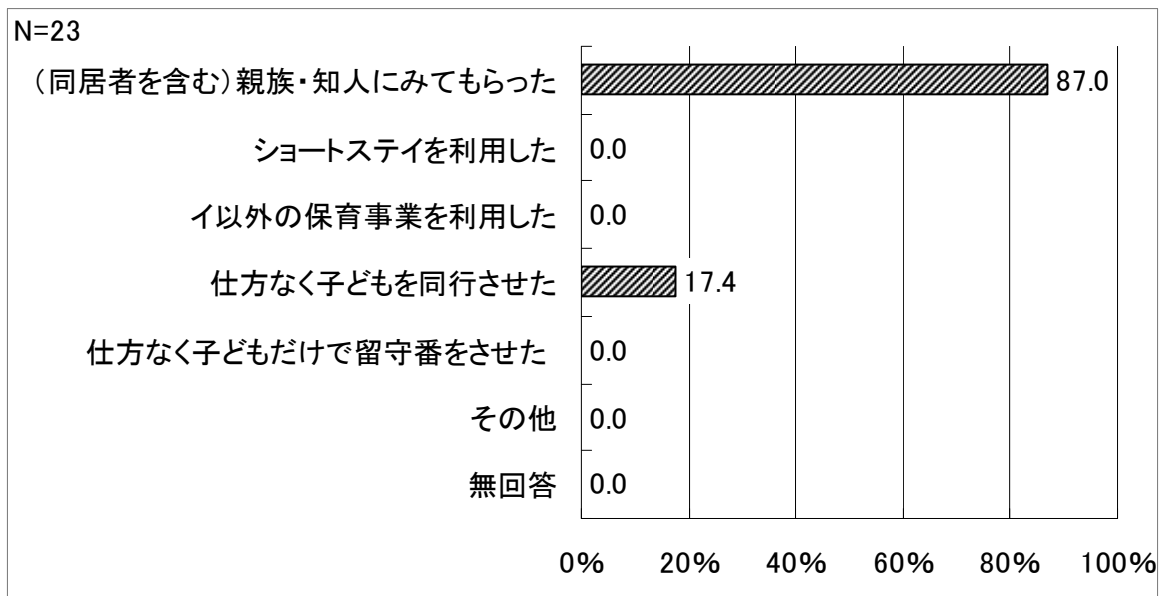


図 21 そのときの対処方法【子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことが「あった」と回答した方 複数回答】《問 25》



⑩小学校就学後の放課後の過ごし方

- ・ 小学校就学後の放課後の過ごし方の意向は、『放課後児童クラブ』の利用希望は低学年の間で44.7%、高学年になってからは31.9%【図22参照】
- ・ 『放課後児童クラブ』について、土曜日と日曜日、祝日の利用希望は、土曜日では『高学年（4～6年生）になっても利用したい』が42.9%【22ページ図23参照】

図22 就学後の放課後の過ごし方の意向【5歳以上の子どもの保護者のみ 複数回答】《問26・問27》

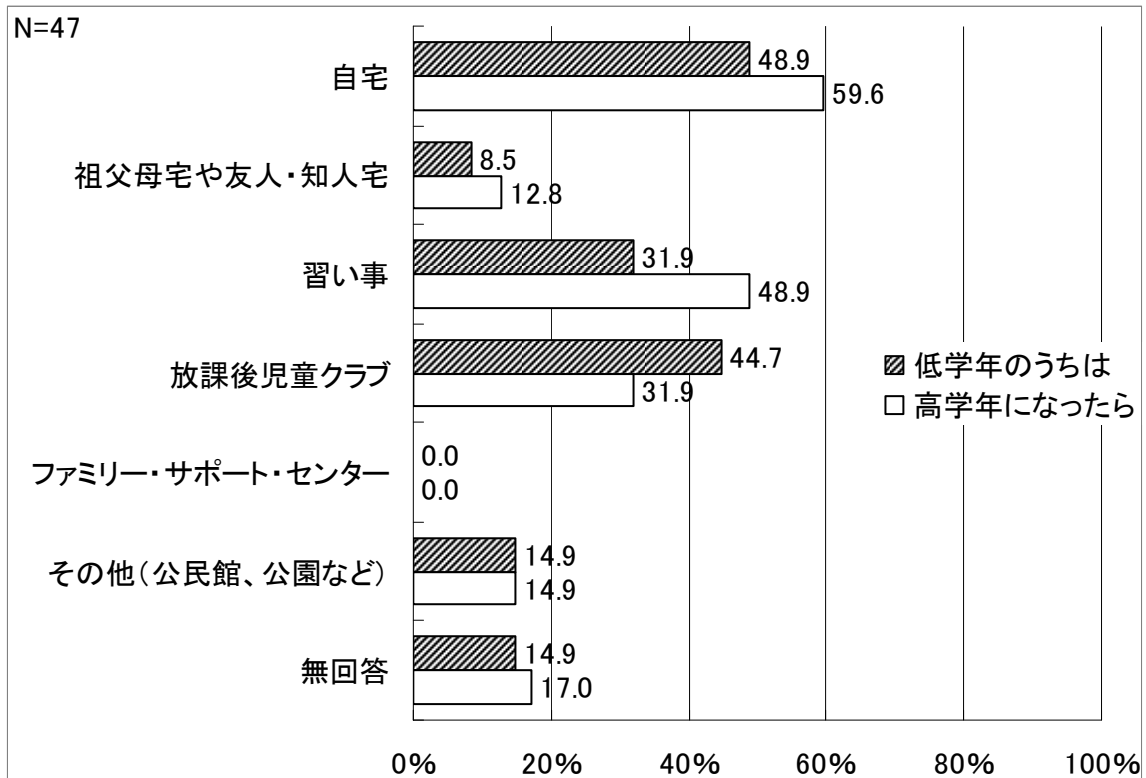
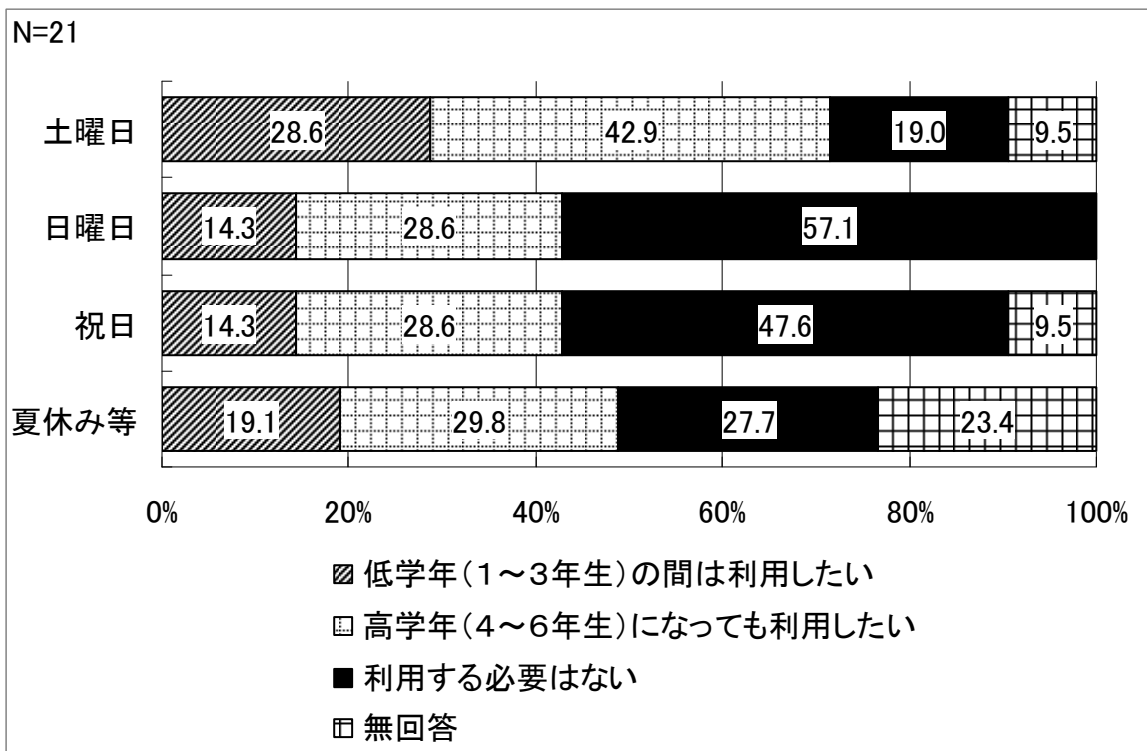


図 23 土曜日と日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用意向【放課後児童クラブの利用を希望する5歳以上の子どもの保護者のみ 複数回答】《問 28・問 29》



⑪職場の両立支援制度

- ・ お子さんが生まれたときの育休の取得状況は、母親では『働いていなかった』が53.4%、『取得した(取得中である)』が26.4%、『取得していない』が18.5%。父親では『取得していない』が85.4%、『取得した(取得中である)』が1.1%【図 24 参照】
- ・ 育休を取得していない理由は、母親では『その他(自営業のため 他)』が45.5%と最も多く、父親では『仕事が忙しかった』が51.3%、『制度を利用する必要がなかった』が40.8%【23 ページ図 25 参照】

図 24 育休の取得状況《問 30》

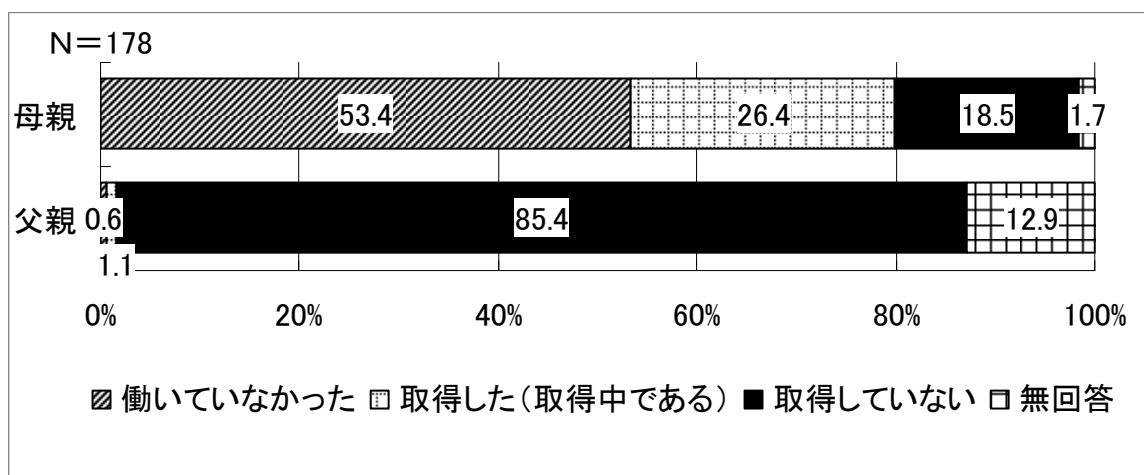
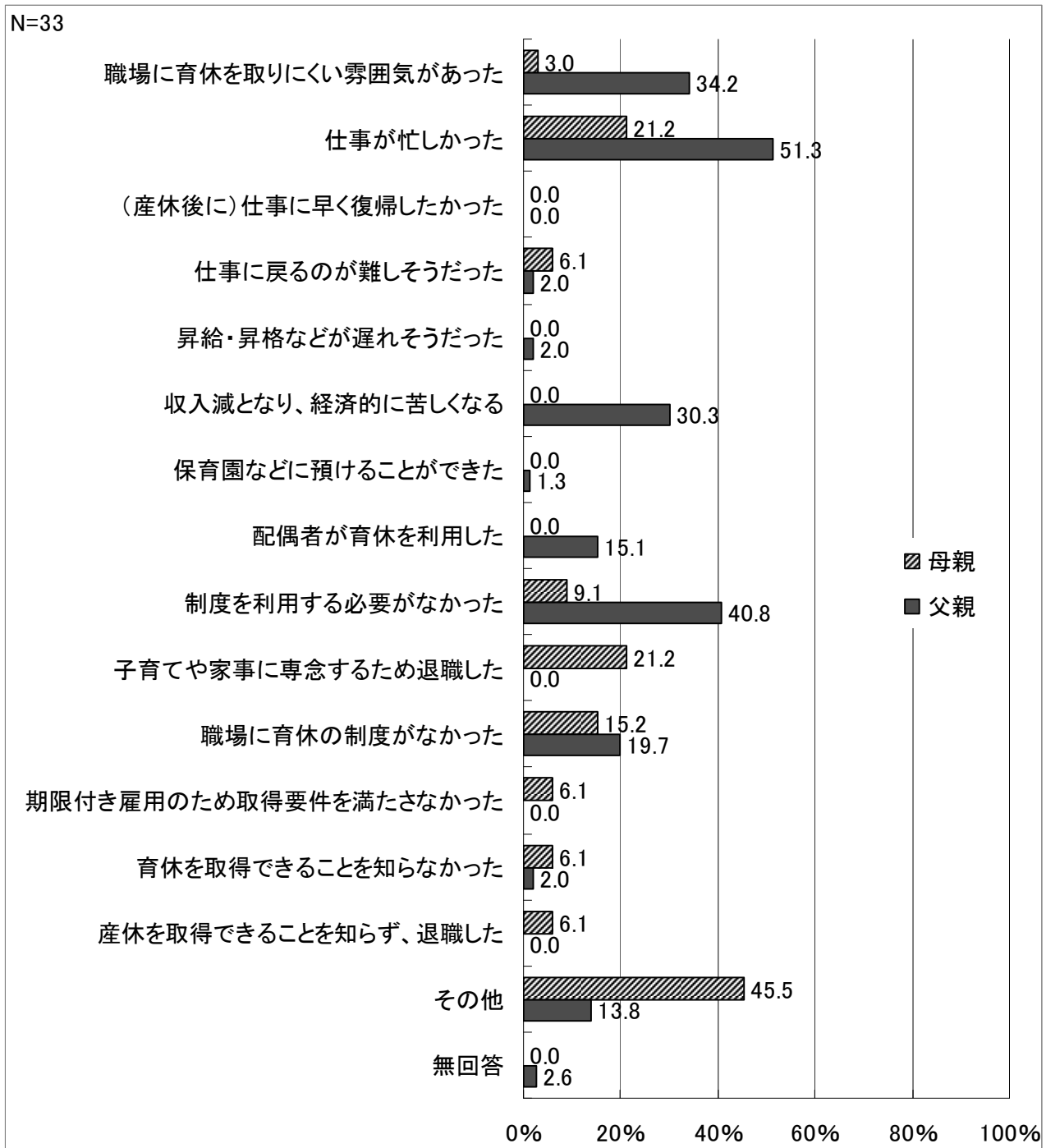


図 25 取得していない理由【育休を「取得していない」と回答した方のみ 複数回答】《問 30》



その他: 自営業のため 他

⑫子育て全般やお子さんの健康管理

- ・ 箱根町における子育ての環境や支援への満足度は、『ふつう』が 40.5%と最も多く、『やや高い』と『高い』を合わせると 32.0%【24 ページ図 26 参照】
- ・ 地域別で見ると、宮城野では『やや低い』が 35.2%、『低い』が 8.1%と、合わせると 40%超【24 ページ表 12 参照】
- ・ 子育てを行っていて、困ったこと、特に困ったことは、『子どもが安全に通れる道路

が少ない』と『安心して子どもを遊ばせられる場所がない』がそれぞれ 56.7%、『近所に同年齢の子どもが少ない、いない』が 52.8%と、これらが上位3つ【25 ページ 図 27 参照】

- ・ 自分は子どもを虐待していると思いついたことがあるかについては、『よくある』が 1.1%、『ときどきある』が 24.7%と、合わせると 25.8%【26 ページ 図 28 参照】
- ・ 自分は子どもを虐待していると思いついたときは、『子どもの心を傷つける言葉を言ったり、拒否的な態度をとってしまうとき』が 76.1%と最も多く、次いで『子どもが言うことを聞かない時にぶったり、けったり、戸外に閉め出すとき』が 45.7%【26 ページ 図 29 参照】
- ・ 自分は子どもを虐待していると思いついたときの相談の状況は、『(相談を)している』が 65.2%、『していない』が 34.8%。相談をしている場合で、家族や友人・知人以外の相談先としては『幼稚園教諭、保育士』、『保健師』、『町の子育て支援課及び学校教育課』がそれぞれ 10%【26 ページ 図 30・27 ページ 図 31 参照】
- ・ 子どもの朝食の状況は、『毎日食べる』が 82.6%、『食べない日の方が多い』と『ほとんど食べない』を合わせると 5.0%【27 ページ 図 32 参照】
- ・ 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスは、『遊ばせる場や機会の提供』が 56.7%と最も多く、次いで『親のリフレッシュの場や機会の提供』が 32.6%、『子育て中の親同士の仲間づくり』が 30.9%などと続く【28 ページ 図 33 参照】

図 26 箱根町における子育ての環境や支援への満足度《問 31》

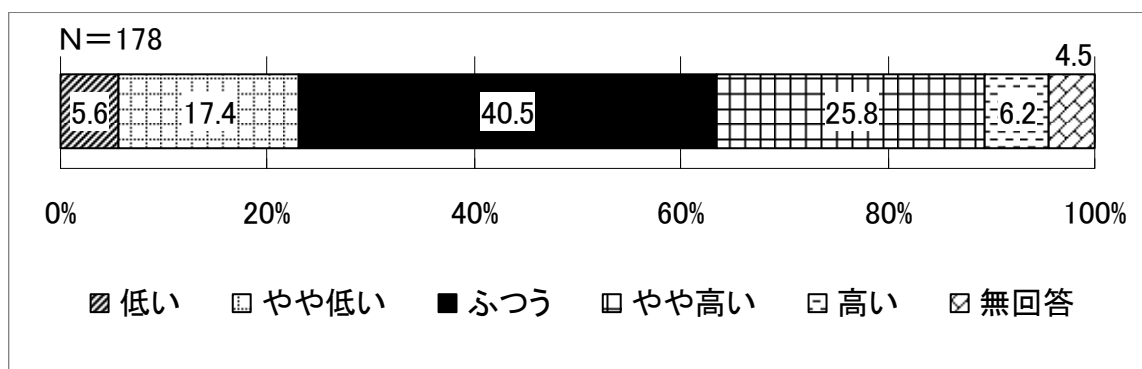


表 12 [地域別クロス集計結果]《問 31》

		回答数	問31 箱根町における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号に1つに○をつけてください。					無回答
			低い	やや低い	ふつう	やや高い	高い	
全体		178	10 5.6%	31 17.4%	72 40.5%	46 25.8%	11 6.2%	8 4.5%
問1 お住まい の地域	湯本	44	0 0.0%	5 11.4%	19 43.1%	12 27.3%	3 6.8%	5 11.4%
	温泉	17	1 5.9%	2 11.8%	6 35.2%	4 23.5%	2 11.8%	2 11.8%
	宮城野	37	3 8.1%	13 35.2%	13 35.1%	7 18.9%	1 2.7%	0 0.0%
	仙石原	56	5 8.9%	7 12.5%	29 51.8%	11 19.6%	3 5.4%	1 1.8%
	箱根	24	1 4.2%	4 16.7%	5 20.8%	12 50.0%	2 8.3%	0 0.0%

図 27 子育てを行っていて、困ったこと、特に困ったこと【複数回答】《問 32》

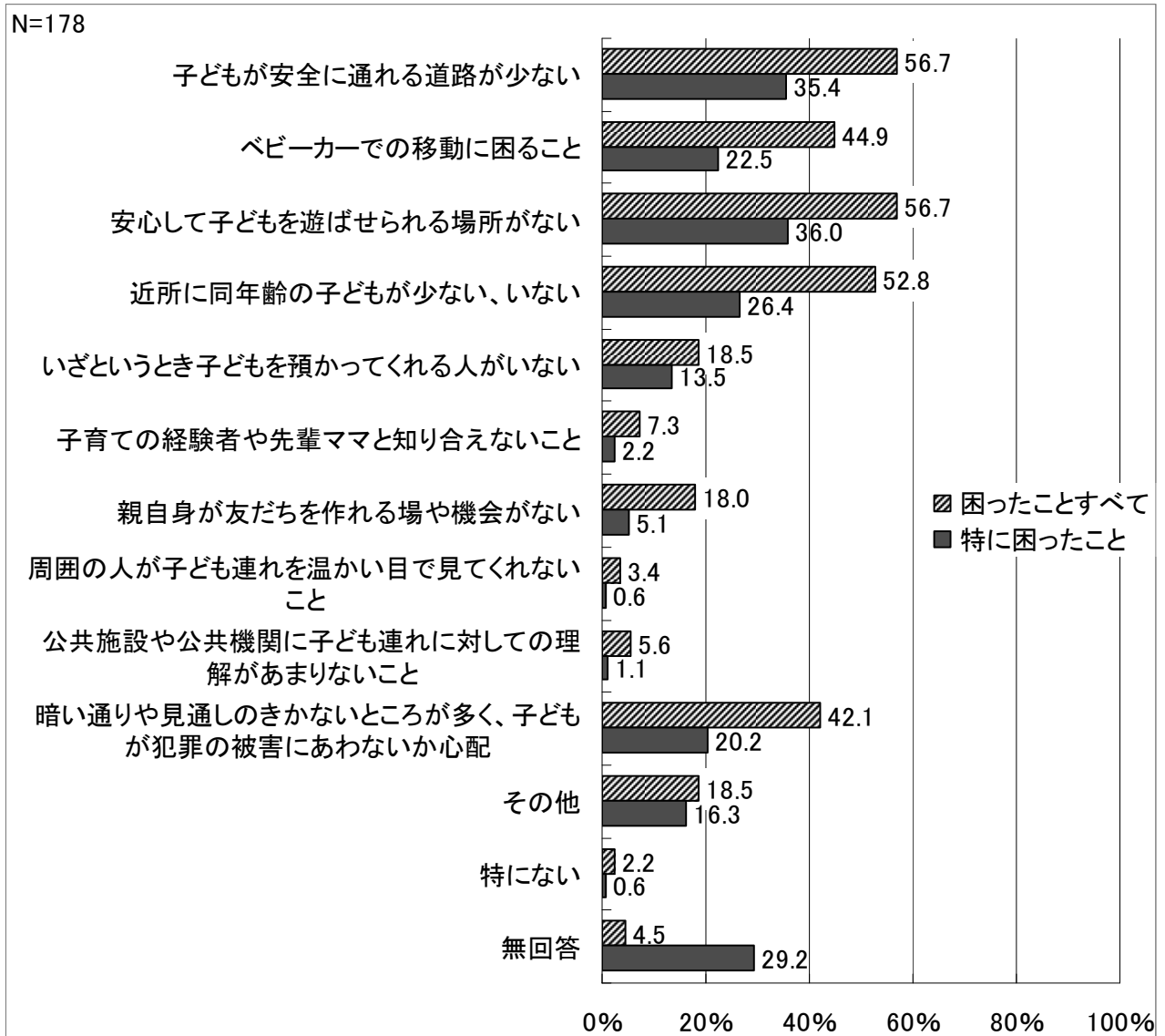


図 28 自分は子どもを虐待していると思ひ悩んだこと《問 33》

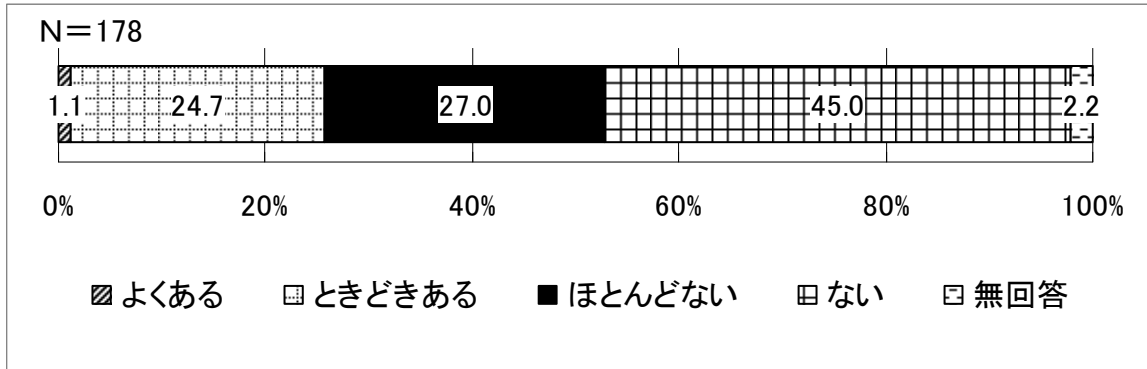


図 29 子どもを虐待していると思ひ悩んだとき【思ひ悩んだときが「よくある」「ときどきある」と回答した方のみ 複数回答】《問 33-1》

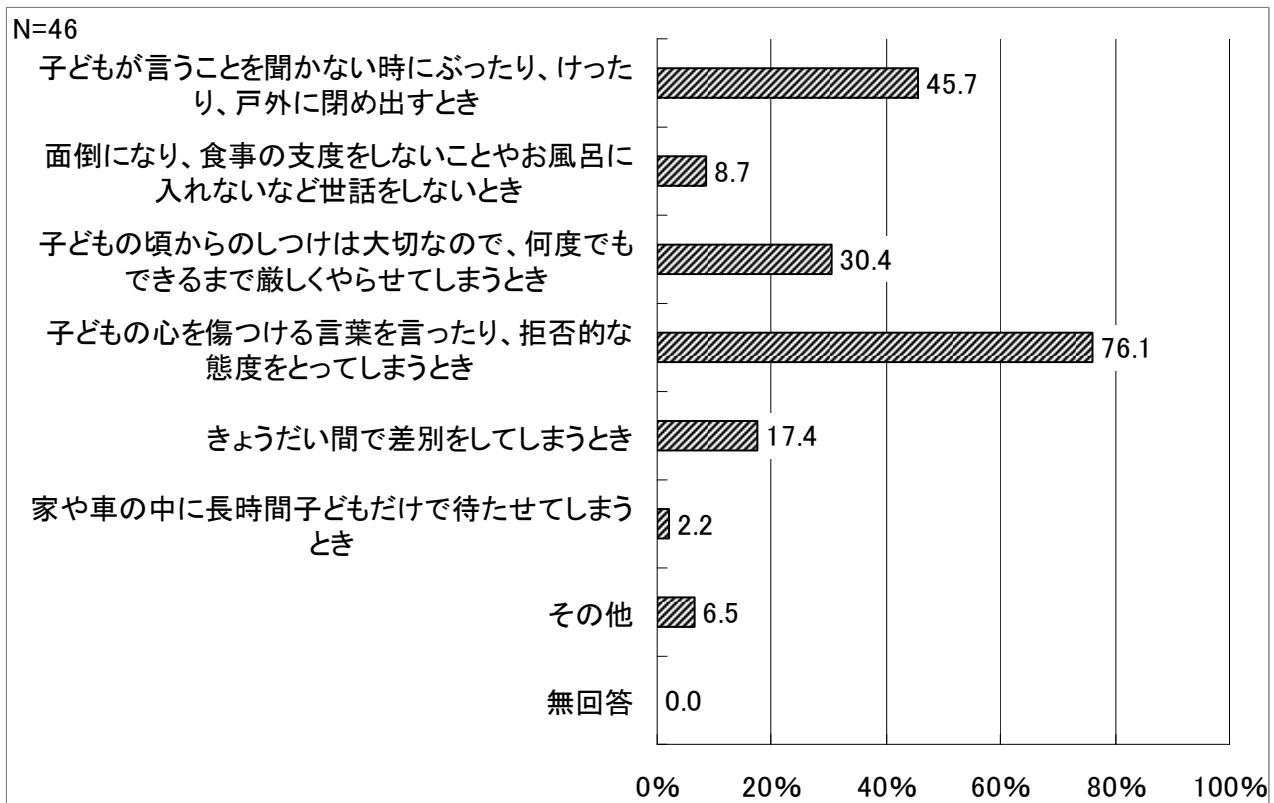


図 30 自分は子どもを虐待していると思ひ悩んだときの誰かへの相談状況【思ひ悩んだときが「よくある」「ときどきある」と回答した方のみ】《問 33-2》

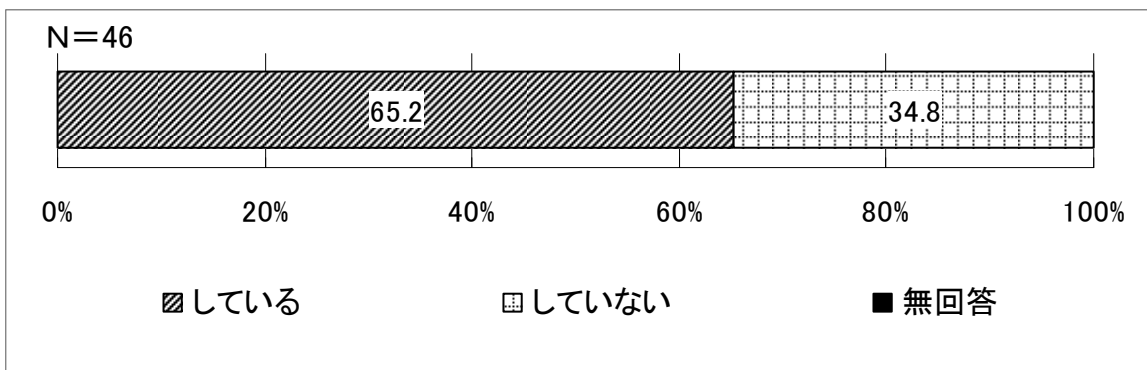


図 31 自分は子どもを虐待していると思い悩んだときの相談先【相談を「している」と回答した方のみ 複数回答】《問 33-3》

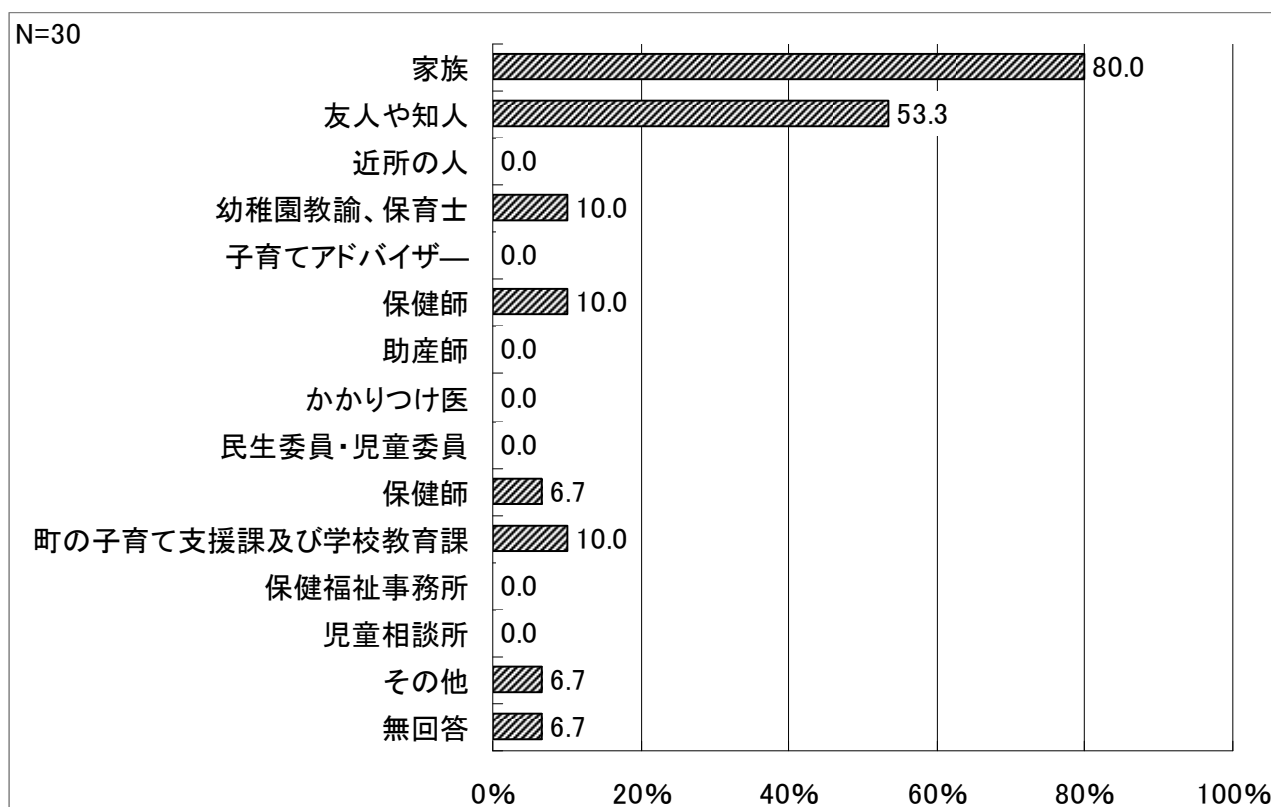


図 32 子どもの朝食の状況《問 37》

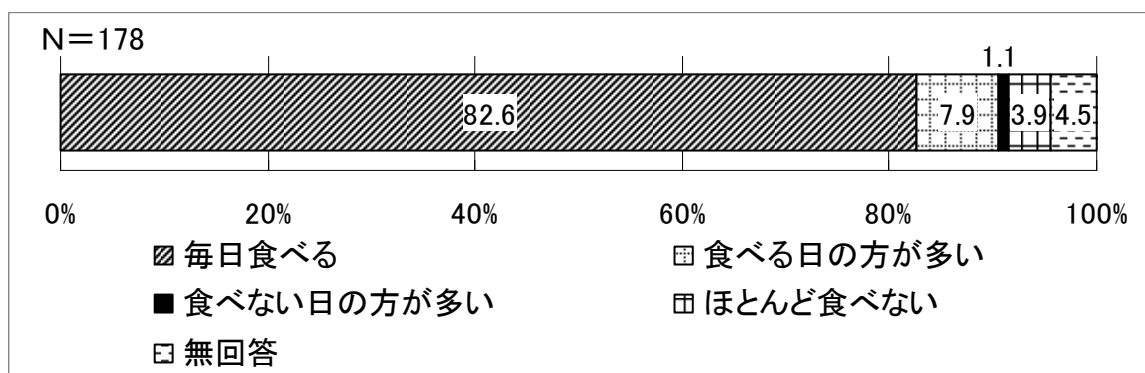
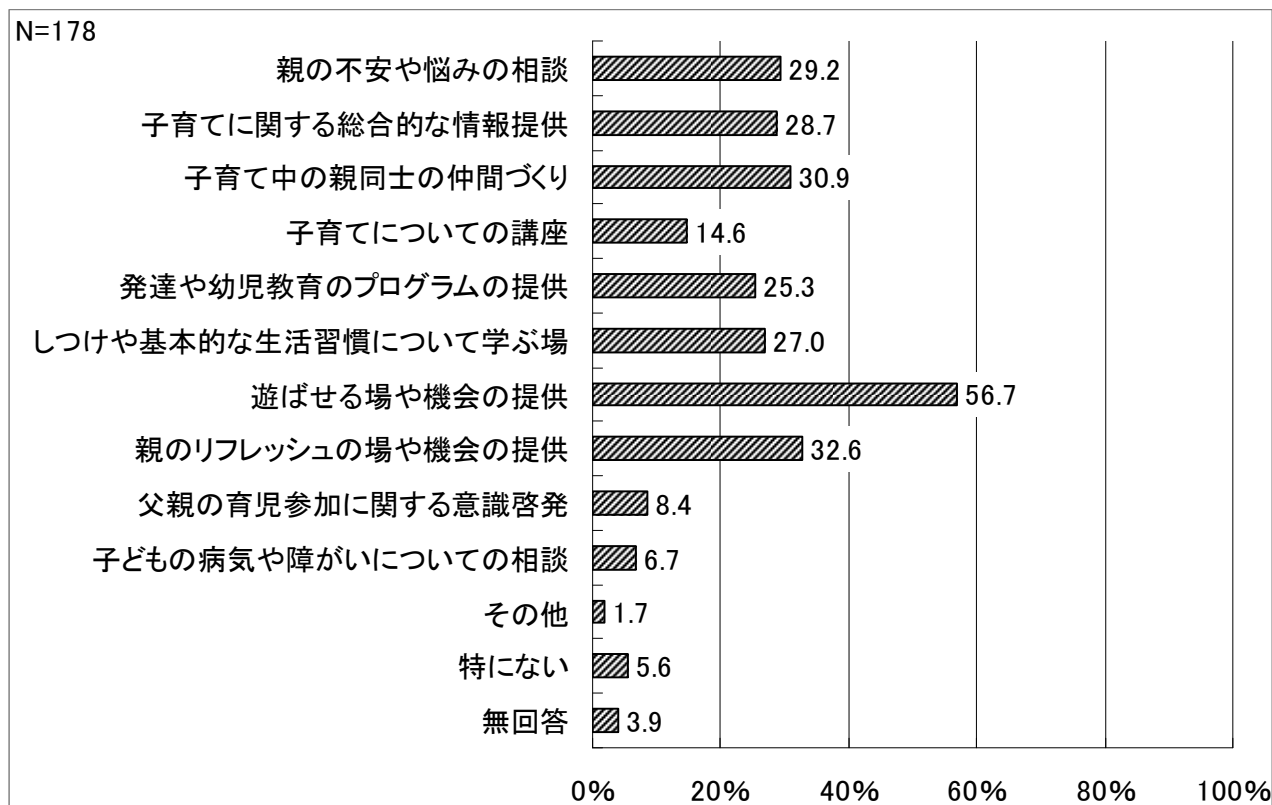


図 33 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービス【複数回答】《問 40》

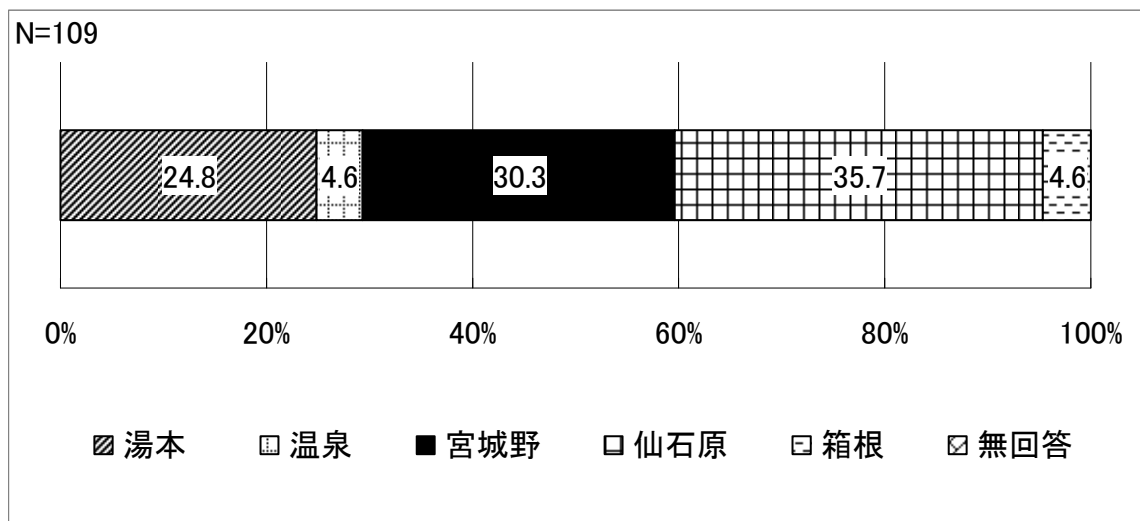


(2) 小学1年生～3年生の保護者

①お住まいの地域

- ・ お住まいの地域は、『仙石原』が35.7%と最も多く、次いで『宮城野』が30.3%、『湯本』が24.8%と続く【図34参照】

図34 お住まいの地域《問1》



②お子さんご家族の状況

- ・ 子どもの年齢は、7歳が40.4%、8歳が32.1%など【図35参照】
- ・ アンケートの記入者は『母親』が87.2%、『父親』が11.0%【30ページ図36参照】
- ・ ひとり親家庭（配偶者がいない）は11.0%【30ページ図37参照】
- ・ 子育ての主体は『父母ともに』は57.8%、『主に母親』が37.6%【30ページ図38参照】

図35 子どもの年齢《問2》

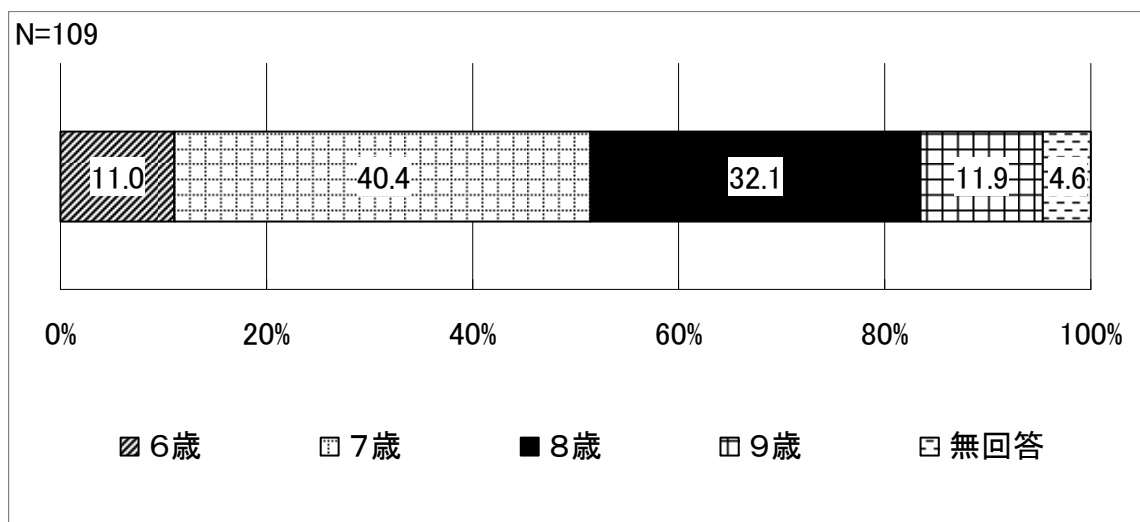


図 36 アンケートの記入者《問4》

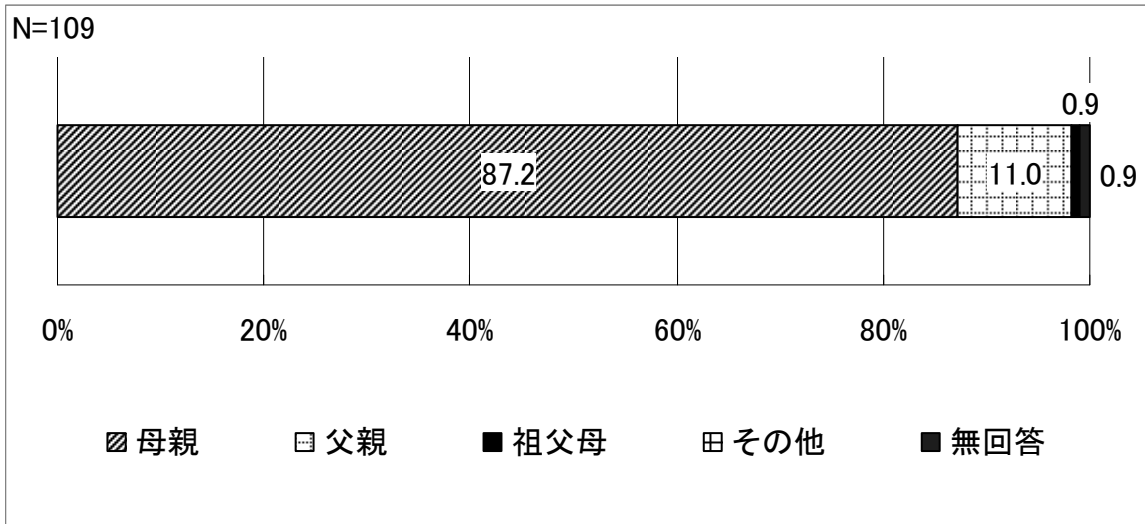


図 37 配偶者の有無《問5》

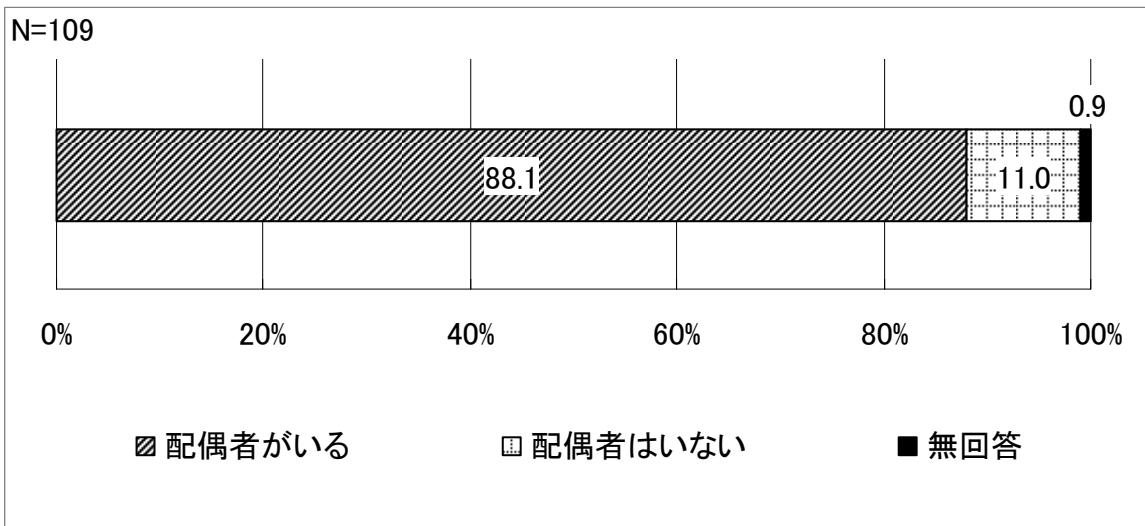
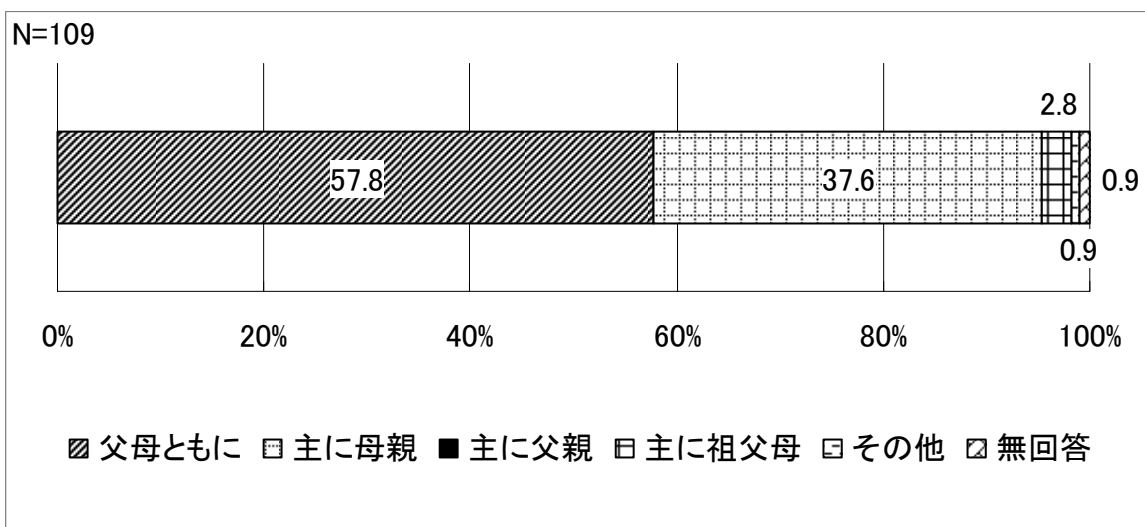


図 38 子育てを主にしている方《問6》



③お子さんの育ちをめぐる環境

- ・ 子育てについて気軽に相談できる人は、『いる』が 86.2%、『いない』が 11.0%【図 39 参照】
- ・ 相談先は、家族や親族、友人・知人以外では、『学校の教諭』が 26.6%、『近所の人』が 13.8%、『かかりつけの医師』が 8.5%と続く【図 40 参照】

図 39 子育てについて気軽に相談できる人の有無《問 10》

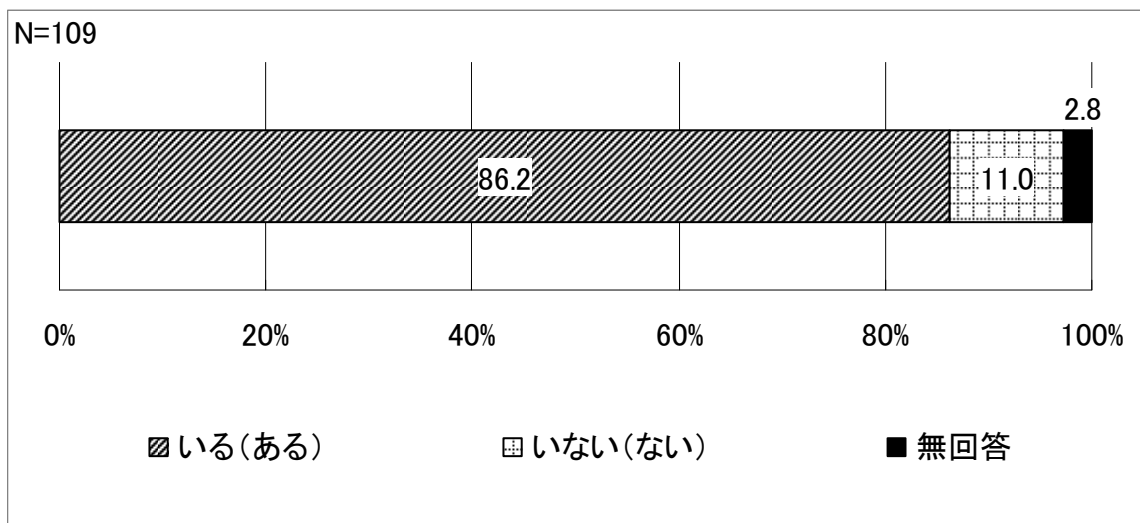
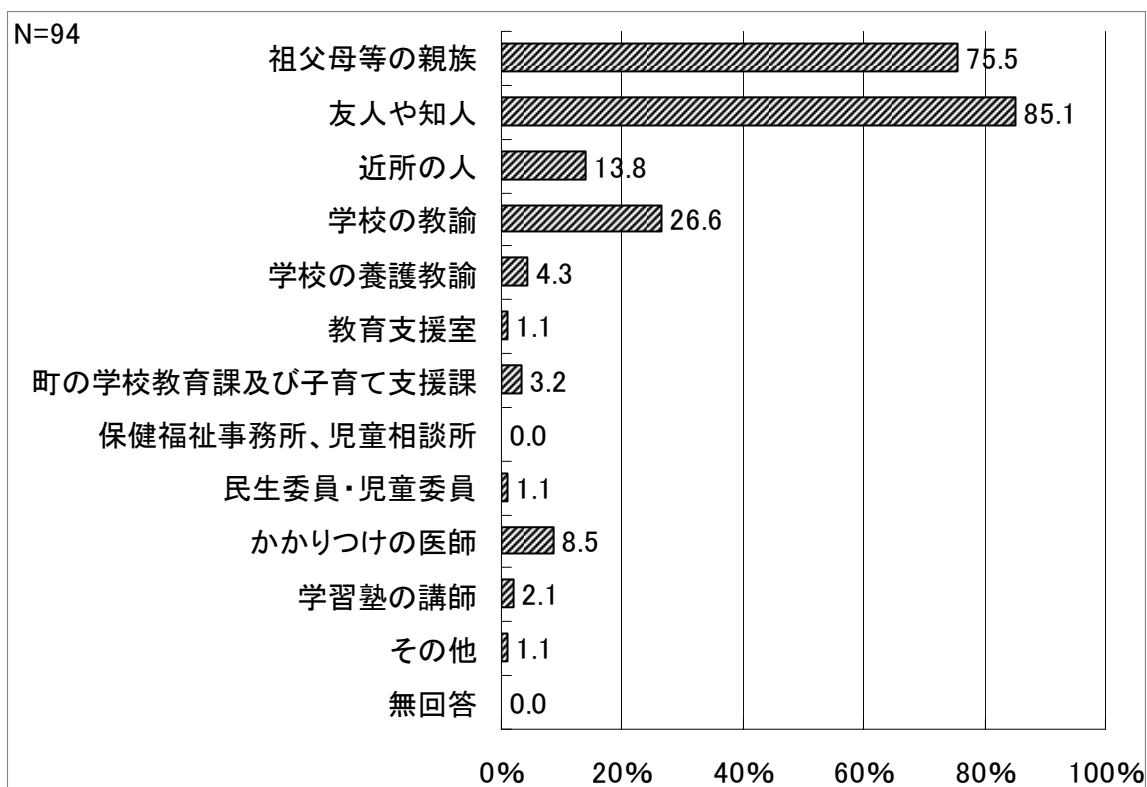


図 40 相談先【複数回答】《問 10-1》



④放課後の過ごし方

- ・ 放課後の過ごし方の現状は、『放課後児童クラブ』が 22.9%、高学年になったときの放課後の過ごし方の意向は、『放課後児童クラブ』が 24.8%【図 41 参照】
- ・ 現在、放課後児童クラブを利用している、または高学年の利用意向を持つ方に、土曜日と日曜日・祝日などの希望は、土曜日では『高学年（4～6年生）になっても利用したい』が 38.3%【33 ページ図 42 参照】

図 41 放課後の過ごし方の現状と高学年になったときの意向【複数回答】《問 12・問 13》

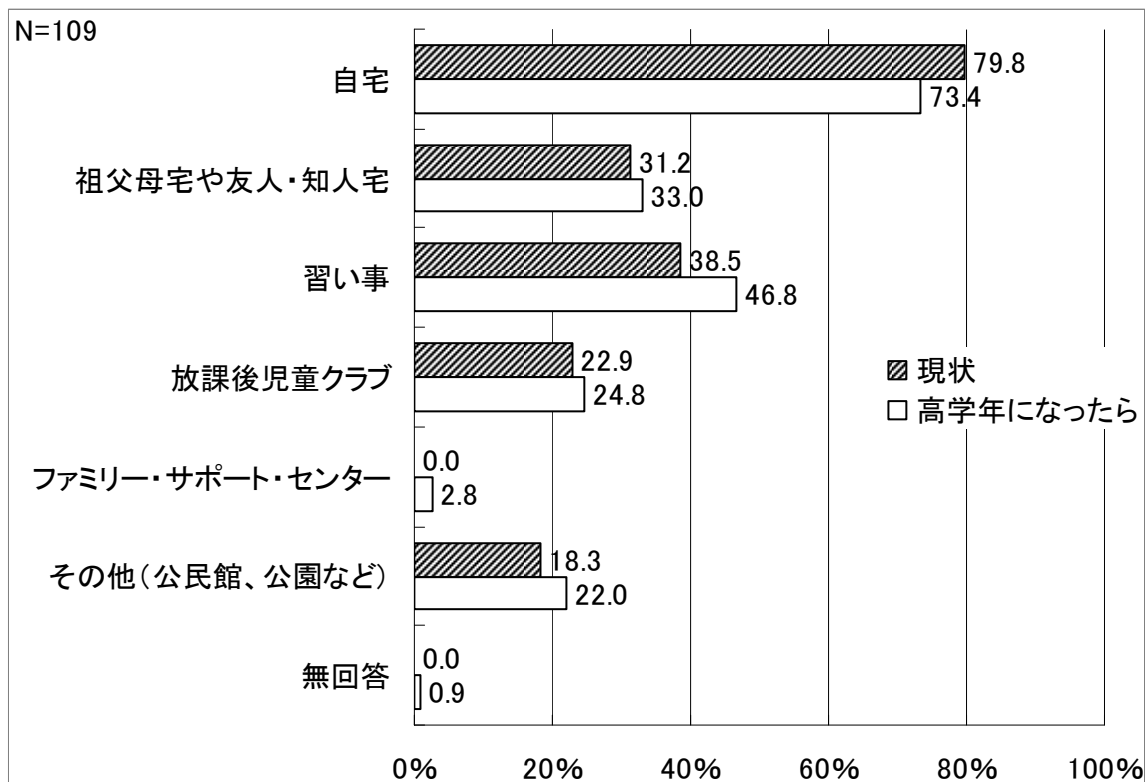
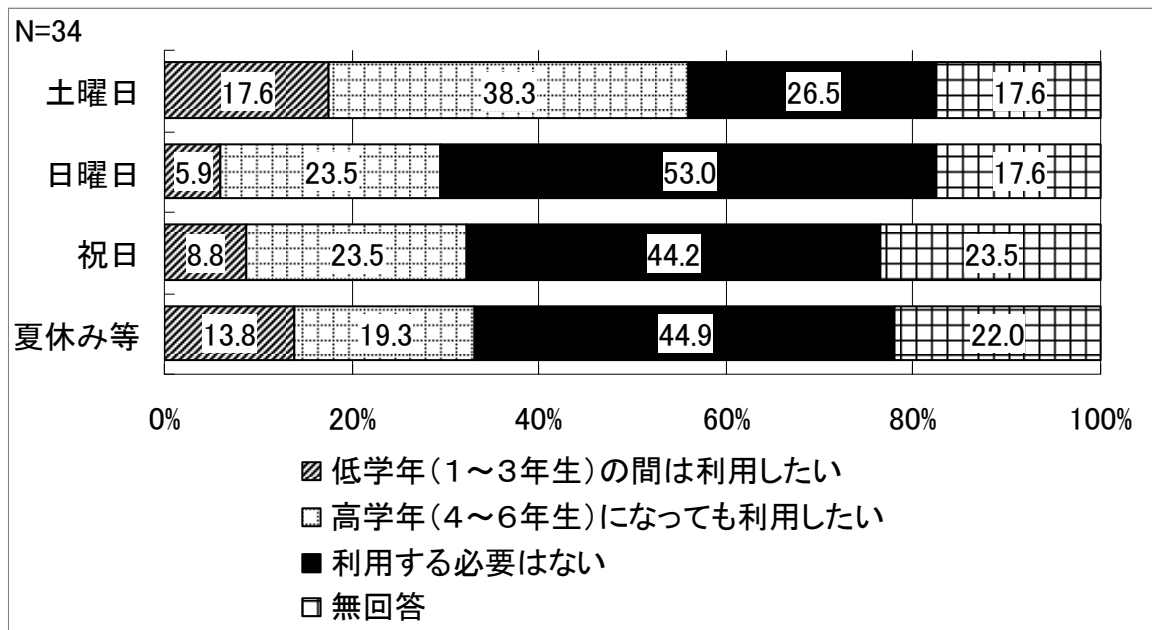


図 42 土曜日と日曜日・祝日などの放課後児童クラブの利用希望【現在、放課後児童クラブを利用中、または高学年での利用希望のある方のみ】《問 14》



⑤子育て全般やお子さんの健康管理

- 箱根町における子育ての環境や支援への満足度は、『ふつう』が39.4%と最も多く、『やや高い』と『高い』を合わせると30.3%【34 ページ図 43 参照】
- 子育てを行っていて、困ったことは、『暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配』が52.3%、『安心して子どもを遊ばせられる場所がない』が50.5%、『子どもが安全に通れる道路が少ない』が47.7%と、これらが上位3つ【34 ページ図 44 参照】
- 自分は子どもを虐待していると思いついたことがあるかについては、『よくある』が0.9%、『ときどきある』が19.3%と、合わせると20.2%【35 ページ図 45 参照】
- 自分は子どもを虐待していると思いついたときは、『子どもの心を傷つける言葉を言ったり、拒否的な態度をとってしまうとき』が68.2%と最も多く、次いで『子どもの頃からのしつけは大切なので、何度でもできるまで厳しくやらせてしまうとき』が50.0%、『子どもが言うことを聞かない時にぶったり、けったり、戸外に閉め出すとき』が40.9%【35 ページ図 46 参照】
- 自分は子どもを虐待していると思いついたときの相談の状況は、『(相談を)している』が72.7%、『していない』が27.3%。相談をしている場合で、家族や友人・知人以外の相談先としては、『近所の人』が18.8%、『学校の養護教諭』が12.5%、『かかりつけの医師』が6.3%【36 ページ図 48 参照】
- お子さんが事故や犯罪の被害に遭いそうになった経験の有無は、『ある』が18.3%【36 ページ図 49 参照】
- 子どもの安全を守るために、特に重要と思われることは、『通学路や子どもの遊び場の安全対策』が65.1%、『地域住民同士のあいさつ・声かけ』が62.4%と、これらが上位2つ【37 ページ図 50 参照】

- ・ 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスは、『子どもを遊ばせる場や機会の提供』が56.9%と最も多く、次いで『子育てに関する総合的な情報提供』が32.1%、『親のリフレッシュの場や機会の提供』が28.4%などと続く【37ページ 図51 参照】

図 43 箱根町における子育ての環境や支援への満足度《問 17》

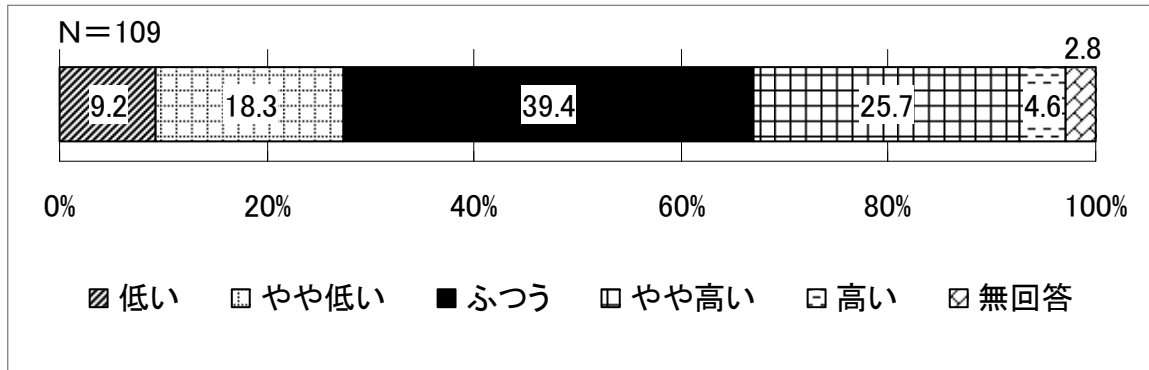


図 44 子育てを行っていて、困ったこと【複数回答】《問 18》

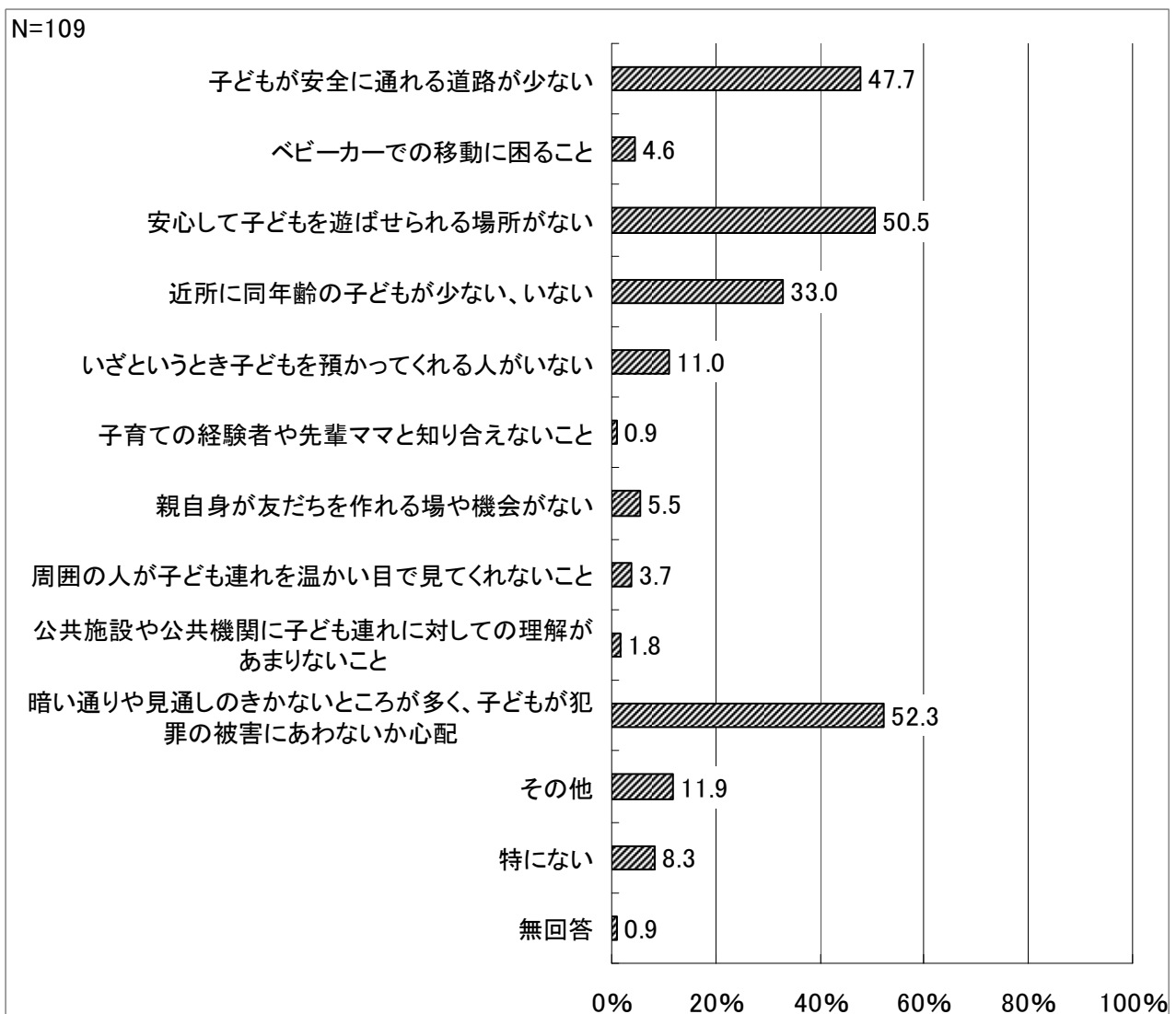


図 45 自分は子どもを虐待していると思いだこと《問 19》

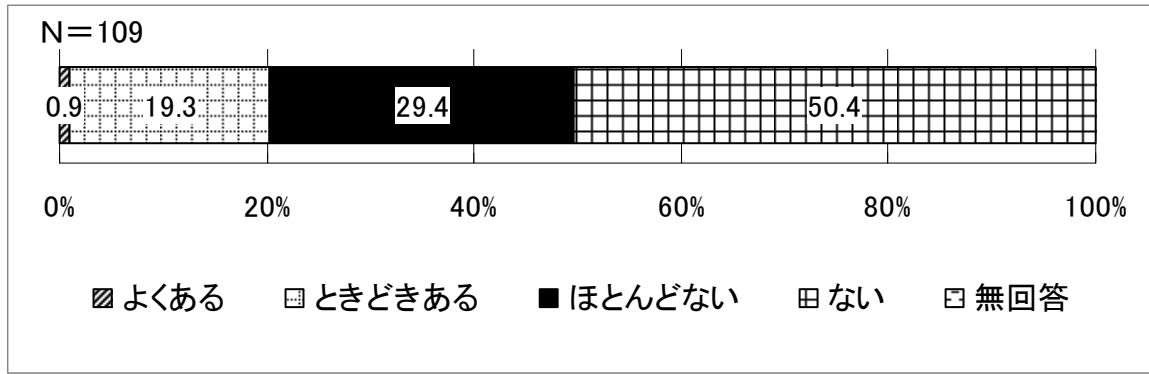


図 46 子どもを虐待していると思いだとき【思いだときが「よくある」「ときどきある」と回答した方のみ 複数回答】《問 19-1》

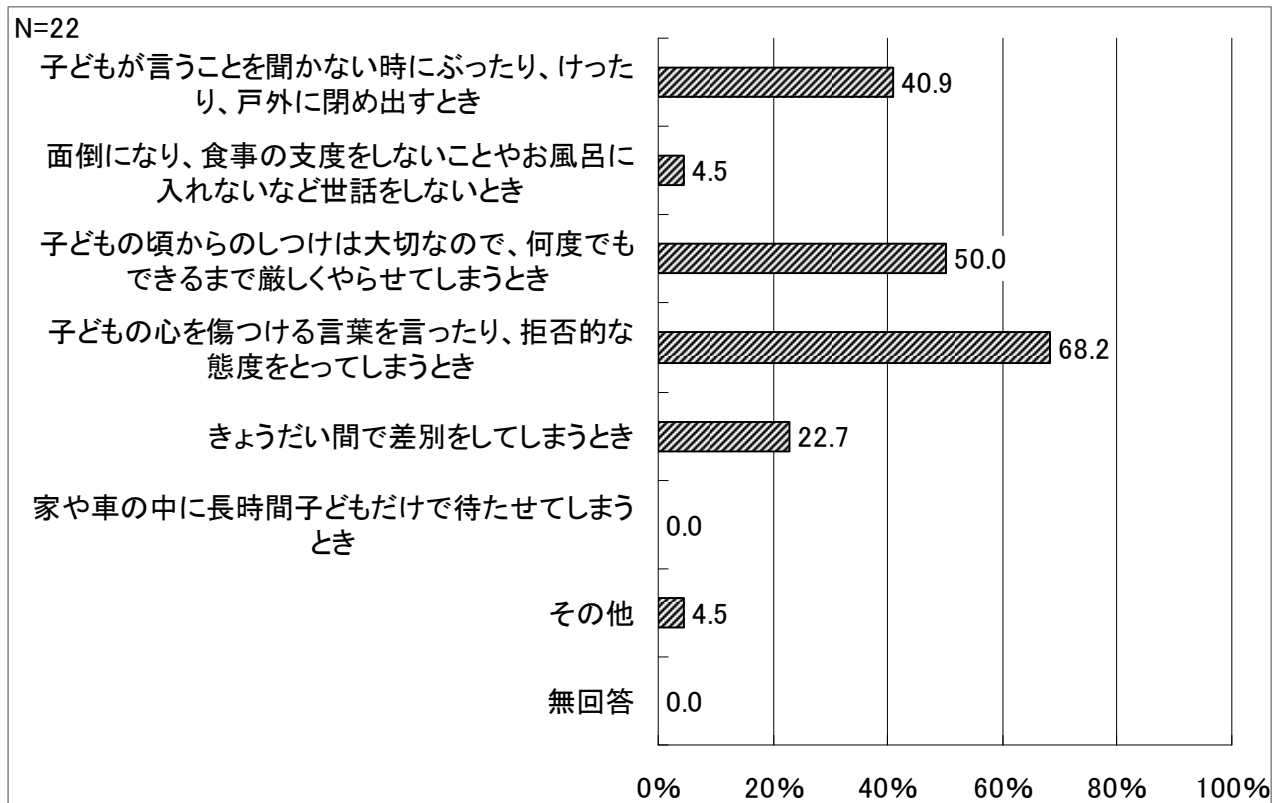


図 47 自分は子どもを虐待していると思いだときの誰かへの相談状況【思いだときが「よくある」「ときどきある」と回答した方のみ】《問 19-2》

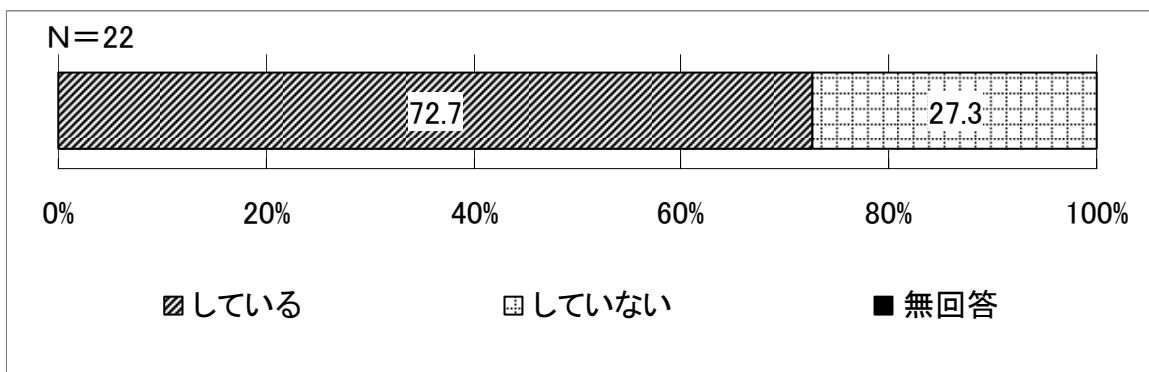


図 48 自分は子どもを虐待していると思い悩んだときの相談先【相談を「している」と回答したかたのみ 複数回答】《問 19-3》

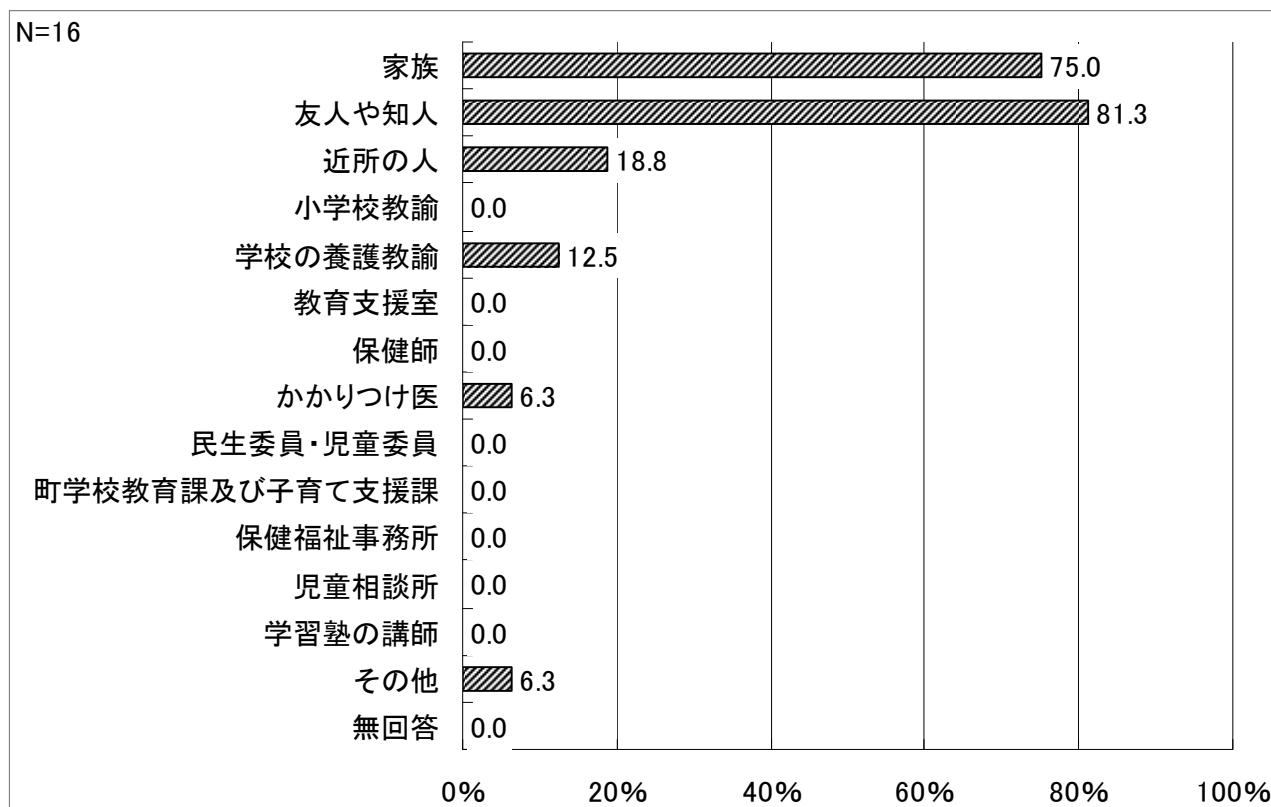


図 49 お子さんが事故や犯罪の被害に遭いそうになったこと《問 20》

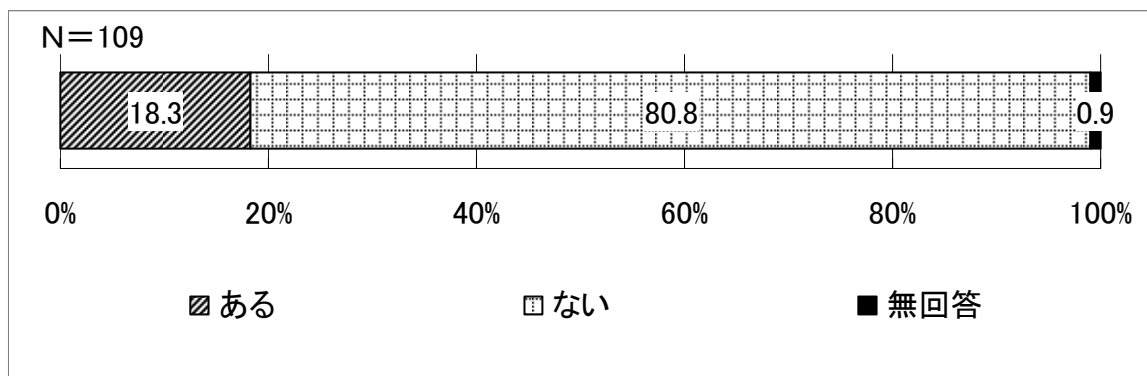


図 50 子どもの安全を守るために、特に重要と思われること【複数回答】《問 21》

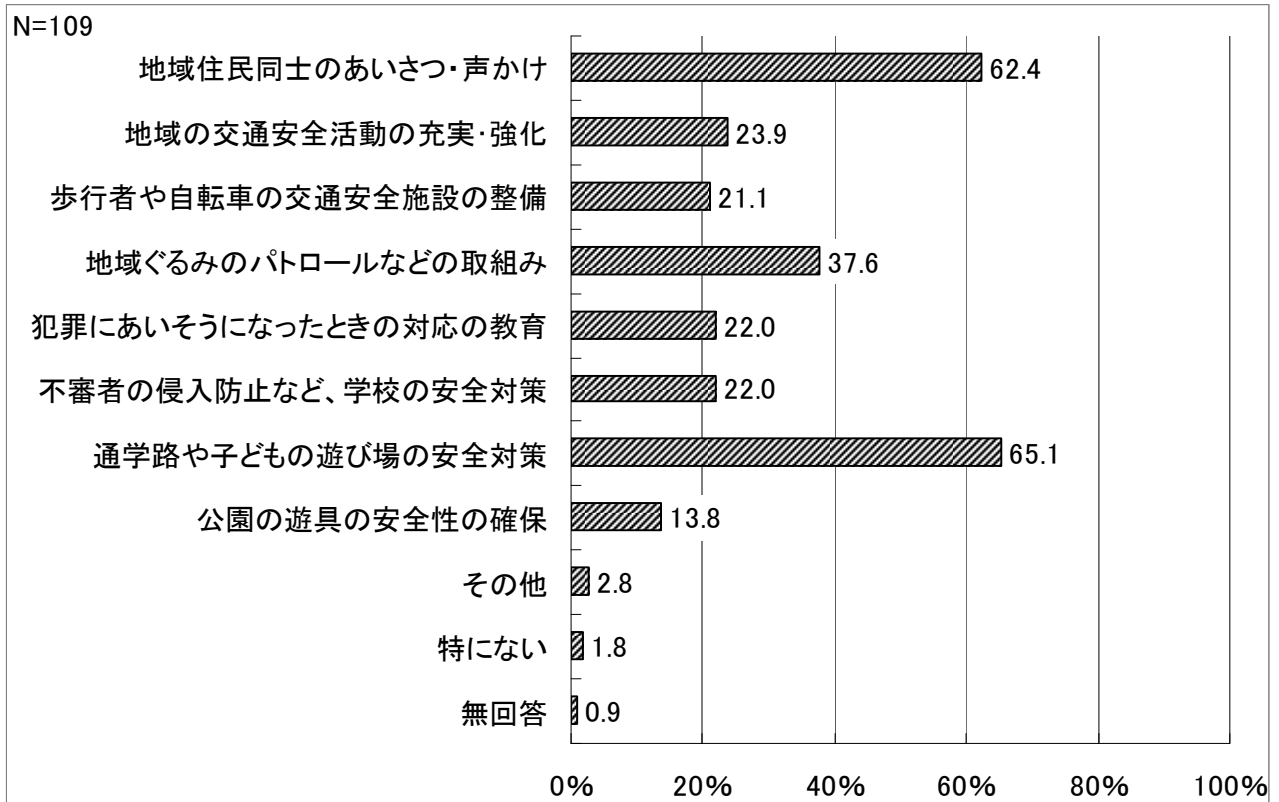
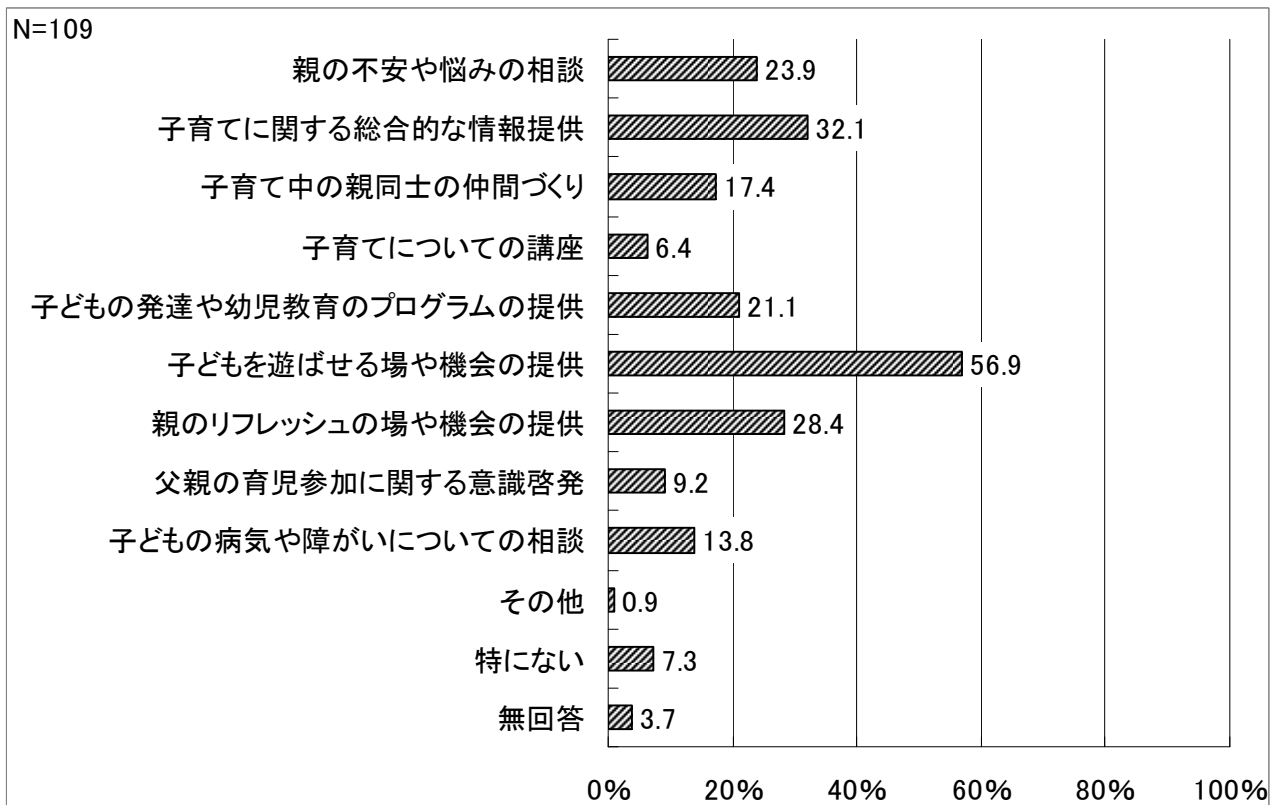


図 51 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービス【複数回答】《問 29》



3 まとめ

【就学前児童の保護者】

(1) 国から示された調査項目について

- ① 調査回答者の約 10%がひとり親家庭（平成 22 年国勢調査による 6 歳未満の子どものいる総世帯に占める母子世帯・父子世帯の割合 約 7%）【5 ページ図 4 参照】
- ② 保護者の約 90%は、子育てについて気軽に相談できる人が『いる』と回答し、未就園の保護者に限定すると、約 30%が相談先として『子育て支援センター、子育てサロン』と回答【6 ページ図 6・表 3 参照】
- ③ 母親の就労は、パート等、フルタイム、未就労の割合がそれぞれ約 30%と概ね均等で、パート等の母親のうち、フルタイムへの転換を希望（実現見込みあり）が 15%【7 ページ図 7・8 参照】
- ④ 現在、平日の定期利用で教育・保育事業を利用していない方（就学前児童の保護者の 33.7%）のうち約 60%の方は、『子どもがまだ小さいこと』を理由にあげ、事業の空きがないことや条件への不満、利用したいものがないといった理由をあげた方はそれぞれ 2%未満【10 ページ図 11 参照】
- ⑤ 現在未就園の保護者については、今後利用したい教育・保育事業（複数回答）は、『幼稚園』が 55%と最も多く、このうち『幼稚園』のみを選んだ方は 26.7%で、残りの方は『保育園』や『幼児学園』なども合わせて選択【7 ページ図 7・8 参照】
- ⑥ 教育・保育事業を選ぶときに重視する点は、『自宅に近い』が 70%弱【13 ページ図 13 参照】
- ⑦ 仙石原子育て支援センターや湯本子育てサロンの利用は、現在未就園の保護者に限定すると、40%超の保護者が利用していると回答しており、本町の子育て支援にとって大きな位置づけ【16 ページ表 10 参照】
- ⑧ 教育・保育事業について、幼稚園在園児の保護者の約 30%が夏休み等のほぼ毎日の利用を希望【17 ページ図 16 参照】
- ⑨ この 1 年間に子どもの病気やケガで園などを利用できなかったことがあり、父親または母親が休んで対応したことがある方については、病児・病後児保育を『できれば利用したい』という方が 30%超【18 ページ図 17 参照】
- ⑩ 一時預かり・一時保育等の未利用の理由としては、就園、未就園に関わらず『特に利用する必要がない』との理由が約 70%で、未就園の保護者の 20%超は、利用手続き等が不明な点と回答【19 ページ表 11 参照】
- ⑪ この 1 年間に泊まりがけで家族以外に預けなければならなかった機会は、10%強が『あった』と回答している一方、そのときの対処方法として、保育事業等を利用したり、子どもだけで留守番をさせたりといった回答はなし【20 ページ図 21 参照】
- ⑫ 小学校就学後の放課後児童クラブの利用希望は、低学年のうちで 40%強、高学年になってからも 30%強の保護者が利用を希望。土曜日の利用希望は、高学年になっても利用したいという方が約 40%【21 ページ図 22・22 ページ図 23 参照】
- ⑬ 育休の取得率は、母親で約 25%、父親で 1%。取得していない理由として、職場のとりにくい雰囲気あげた割合は、母親では 3%の一方、父親では 30%超【22 ページ図 24・23 ページ図 25 参照】

- ⑭ 箱根町の子育て環境や支援に対する満足度は、高くもなく、低くもないといった評価が約 40%で、低いという評価よりも、高いと評価した保護者が比較的多数【24 ページ図 26 参照】

(2) 町独自の調査項目について

- ① 子育てに関して困ったことは、安全面や遊び場の不足が特に困ったことの上位【25 ページ図 27 参照】
- ② 保護者の約 25%は、子どもを虐待していると思い悩んだ経験を持っており、その多くは、傷つける言葉や否定的な態度をとった際に感じている。思い悩んだときに相談を『していない』という方が 30%超【26 ページ図 28・図 29・図 30 参照】
- ③ 子どもの朝食に関して、家庭の 5%が『食べない日が多い』または『ほとんど食べない』と回答【27 ページ図 32 参照】
- ④ 子育て支援に必要なサービスについては、遊び場や機会の提供を求める保護者が多く、保護者のリフレッシュや仲間づくりの機会を求める方も比較的多数【28 ページ図 33 参照】

【小学 1 年生～3 年生の保護者】(すべて町独自の調査項目)

- ① 子育ての主体は『父母ともに』が約 60%で、就学前児童の同回答(約 50%)から上昇。この調査の記入者も『父親』が約 10%と、就学前児童の同回答(約 5%)から上昇【30 ページ図 36・図 38 参照】
- ② 放課後児童クラブの利用は、現状で 20%強の利用率に対して、高学年になってからの利用希望も変わらず 20%強。土曜日の利用希望は、高学年になっても利用したいという方が約 40%【32 ページ図 41・33 ページ図 42 参照】
- ③ 箱根町の子育て環境や支援に対する満足度は、就学前児童の保護者と同様に、高くもなく、低くもないといった評価が約 40%で、低いという評価よりも、高いと評価した保護者が比較的多数【34 ページ図 43 参照】
- ④ 子育てに関して困ったことは、就学前児童の保護者と同様に、安全面や遊び場の不足が困ったことの上位【34 ページ図 44 参照】
- ⑤ 保護者の約 20%は、子どもを虐待していると思い悩んだ経験を持っており、その多くは、就学前児童の保護者と同様に、傷つける言葉や否定的な態度をとった際に感じている。思い悩んだときに相談を『していない』という方が約 30%【35 ページ図 45・図 46・図 47 参照】
- ⑥ 子どもが事故や犯罪の被害に遭いそうになった経験を持つ保護者は約 20%で、子どもの安全対策としては、通学路・遊び場の対策と住民によるあいさつ・声かけを重視する保護者が比較的多数【36 ページ図 49・37 ページ図 50 参照】
- ⑦ 子育て支援に必要なサービスについては、就学前児童の保護者と同様に、遊び場や機会の提供を求める保護者が比較的多数【37 ページ図 51 参照】